検討対象物質の背景情報一覧(個票)

【掲載物質リスト】

【拘蚁初貝	7/11/	選定条件の該当状況								
物質番号	化学物質名	排水基準 (有害物質以外)	環境基準 (環境基準健康項目及び 地下水環境基準項目)	環境基準 (生活環境項目のうち、水生生物 の保全に関するもの)	環境基準 (生活環境項目のうち、水生生物 の保全に関するもの以外)	要監視項目	水道水質基準 (水質基準項目)	水道水質基準 (水質管理目標設定項目)	事故事例 (水質事故)	頁(個票)
1	亜鉛及びその化合物 ・酸化亜鉛	<u> </u>		•		—	<u> </u>	_		1 2 3
2	銅及びその化合物	0				•	0	•	•	3
参考資料	•塩化銅(I)	_	_	_	_	-	_	_	_	4
参考資料	•塩化銅(II)	_	-	_	-	-	-	_	-	4 5
3	マンガン及びその化合物	•				0	0	0		6
参考資料	・シクロペンタジエニルトリカ ルボニルマンガン	-	_	-	_	-	_	_	_	7
参考資料	・過マンガン酸カリウム(VII)	-	_	_	_	-	_	_	_	8
参考資料	・硫酸マンガン(II)	-	-	-	-	-	-	_	-	9
4	フェノール類及びその塩類	0				•	0		•	10
参考資料	・フェノール	-	-	-	_	-	-	-	-	11
参考資料	・クレゾール	-	-	-	-	-	-	-	-	12
参考資料	・0-クレゾール	_	-	_	_	-	-	-	-	13
5	鉄及びその化合物	•					0		•	14
参考資料	・酸化鉄	-	-	-	-	-	-	-	-	15
参考資料	·塩化鉄(II)	-	-	-	-	-	-	_	-	16
参考資料	・鉄カルボニル	-	-	-	-	-	-	-	-	17
6	クロム及びその化合物(6価クロム化合物を除く)	0								18
参考資料	・クロム	_	_	_	_	_	_	_	_	19
多 万 真和 7	1,4-ジオキサン		0				0		0	20
8			0			0	0			21
9	塩化ビニルモノマー		0			Ö				22
10	クロロホルム					0	0		0	23
11	トルエン					0		0	0	24
12	イソキサチオン					0		0		25
13	ダイアジノン					0		0		26
14	アンチモン及びその化合物					0		0		27
参考資料	・塩化アンチモン(三塩化ア ンチモン)	-	-	-	-	-	-	-	-	28
参考資料	ā	_	_	_	_	-	-	_	_	29
参考資料		_	_	-	_	_	_	_	_	30
15						0		0		31
参考資料		-	-	-	-	-	-	_	-	32
参考資料	ā	_	_	_	—	-	_	<u> </u>	_	33
参考資料		-	-	-	_	-	-	_	-	34
16	フタル酸ジ(2-エチルヘキシ ル)					0		0		35
17	フェニトロチオン(MEP)					0		0		36
18 19						0		0		37 38
20						0		0		39
21	ジクロルボス(DDVP)					0		0		40
22	フェノブカルブ (BPMC)					0		0		41
23						0		0		42
24						0		0		43
25	エピクロロヒドリン					0				44

				選	定条件の該	3当状況				
物質番号	化学物質名	排水基準 (有害物質以外)	環境基準 (環境基準健康項目及び 地下水環境基準項目)	環境基準 (生活環境項目のうち、水生生物 の保全に関するもの)	環境基準 (生活環境項目のうち、水生生物 の保全に関するもの以外)	要監視項目	水道水質基準 (水質基準項目)	水道水質基準 (水質管理目標設定項目)	事故事例 (水質事故)	頁 (個票)
26	キシレン					0			0	45
27	モリブデン及びその化合物					0		4		46
参考資料	・モリブデン	<u> </u>	_	-	-	_	_	_	_	47
28						0				48
29	p-ジクロロベンゼン					0				49
30	ホルムアルデヒド					0	0		0	50
31	塩素酸及びその塩類				5		Ō		•	51
参考資料	・塩素酸ナトリウム	_	_	-	_	-	_	-	_	52
参考資料	・塩素酸カリウム	_	-	-	-	-	-	-	_	53
32	臭素酸及びその塩類						0			54
参考資料	・臭素酸ナトリウム	_	-	-	_	-	_	_	-	55
参考資料	・臭素酸カリウム	_	_	-	_	_	_	_	_	56
33							0	0	•	57
参考資料	・塩化アルミニウム	_	-	-	_	_	_	_	_	58
参考資料	・酸化アルミニウム	_	_	-	_	_	_	_	_	59
34	メチル-t-ブチルエーテル				5			0		60
35	アクリルアミド								0	61
36					5			č	0	62
37									0	63
38	塩化水素							ļ	0	64
39	塩化チオニル								0	65
40	過酸化水素								Ö	66
41	クロルスルホン酸								0	67
42	酢酸エチル	.							Ö	68
43	臭素	<u> </u>							Ö	69
44	水酸化カリウム	.							0	70
45								<u> </u>	Ō	71
46								ė	0	72
47									0	73
	ヒドラジン								0	74
49		<u> </u>							Ö	75
	ホスゲン	<u> </u>							0	76
51									Ö	77
52									0	78
53								<u> </u>	0	79
54									0	80
55									0	81
	クロルデン								0	82
	クロルピクリン								0	83
	クロルピリホス	 							0	84
) D音味け下記の通りである	<u> </u>	.	<u> </u>	.			<u> </u>		01

表中の記号の意味は下記の通りである。

^{○:}今般検討している化学物質名と各法規制等に記載されている化学物質名の範囲が概ね一致するもの

^{●:}各法規制等の物質名が、今般検討している化学物質名の一部に該当するもの

凡例 1 指定物質の選定基準

指定物質の選定要件は以下のとおりである。

以下のいずれかの法令等の選定要件を満たした場合、指定物質として選定することとした。また、この他、専門家の意見を踏まえ、選定を行っている。

		選定要件
	該当する法令等	(以下の要件を全て満たすこと)
a)	排水基準(生活環境項目)	・排水基準生活環境項目に該当する項目。
a)	孙小差平(生佰垛克填日)	・保留要件注1に該当しない項目。
b)	環境基準(健康項目)	・水質環境基準健康項目に該当する項目。
D)	块児左平(健康項目)	・保留要件注1に該当しない項目。
	環境基準(生活環境項目のうち、水	・水質環境基準生活環境項目に該当する項目のうち、水生生物の
c)	生生物の保全に関するもの)	保全に関するもの。
	生生物の保生に関するもの)	・保留要件注1に該当しない項目。
	環境基準(生活環境項目のうち、水 生生物の保全に関するもの以外)	・水質環境基準生活環境項目に該当する項目のうち、水生生物の
d)		保全に関するもの以外。
		・保留要件注1に該当しない項目。
e)	要監視項目	・排水基準生活環境項目に該当する項目。
e)	安监况项目	・保留要件注1に該当しない項目。
f)	水道水質基準	・水道水質基準に該当する項目。
1)	小坦小貝左中	・保留要件注1に該当しない項目。
		・水質管理目標設定項目に該当する項目。ただし、農薬類は除
g)	水質管理目標設定項目	<₀
		・保留要件注1に該当しない項目。
	事故事例(水質事故)が	・事故事例が確認された項目のうち、水環境に影響を及ぼすことが
h)		予想される項目。
	確認された物質	・保留要件注1に該当しない項目。

注1:保留要件は、以下のとおりである。以下のいずれかの条件を満たした場合は、選定を保留とした。

<特定の化学物質として指定できない場合>

ア性状を表わす指標である場合

⇒判断方法や事故時の措置の対象となる数値の検討が必要

(例: 臭気、味、生物化学的酸素要求量(BOD)、硬度、窒素含有量、塩化物イオン)

イ水中で分解・生成等される水質測定項目である場合

⇒判断方法や原因物質の指定可能性およびその指定方法についての検討が必要

(例:残留塩素、遊離炭酸、トリハロメタン類、酢酸・ハロ酢酸類)

ウ成分により有害性が異なる又は構成成分が明らかでない場合

⇒判断方法や他の指定物質との整合等についての検討が必要

(例:陰イオン界面活性剤、セメント灰汁)

凡例2 GHS 分類対象物質リストにおける環境リスク「高」「中」の評価方法について

個票の「その他」欄に記載されている、「GHS 分類対象物質リスト(環境リスク「高」)」及び「GHS 分類対象物質リスト(環境リスク「中」)」は、以下のとおり評価されたものである。

【環境リスク「高」】

「経口急性毒性 LD₅₀≤50mg/kg かつ 製造輸入量100t/年以上」、又は

「経口急性毒性 50mg/kg≤LD₅₀≤300mg/kg かつ製造輸入量 1000t/年以上」

【環境リスク「中」】

「経口急性毒性 50mg/kg≦LD₅₀≤300mg/kg かつ 100t/年≤製造輸入量≤1,000t/年以上」、又は

「経口急性毒性 300mg/kg≦LD50≦2,000mg/kg かつ製造輸入量1,000t/年以上」

物質番号	物質名	CAS No.
1	亜鉛及びその化合物	_

		項目			データ等			
	化学							
	分子量(式量)							
性	常温	lでの状態						
性状等	融点	Ţ						
等	沸点	į						
	水溶	ド解度						
	その	他						
取	主な	用途						
扱状	製造	ē·輸入量						
況	その	他						
		急性毒性(経	口)	_	_			
		皮膚腐食性/ラ	刺激性	_	_			
有	/ 	眼に対する	重篤な		_			
害	健康	損傷性/刺激	性	_				
性	/AK	生殖細胞変異原性		_	_			
有害性(GHS		発がん性		_	_			
S A		生殖毒性		_	_			
分類		水生環境有害	手性					
()	環境	(急性毒性)						
	境	水生環境有害	評性	_	_			
		(慢性毒性)						
選定	三冬	A 法規制等		排水基準(生活				
性の			T	水道水質基準	(水質基準項目)			
当場		事故の報告	例1					
		事例	例2					
		会における						
専門	明家の	意見						
				毒物及び劇物				
その) 仙				物質リスト(環境リスク「中」)			
	د رت				(附属書 I 掲載物質)			
				要調査項目				

備考	

物質番片	物質名	CAS No.
1 参考資料	酸化亜鉛 (物質群「亜鉛及びその化合物」の個別物質の例)	1314-13-2

項目					データ等		
	化学	之式		ZnO			
	分子量(式量)			81.389			
性	常温	こでの状態		白色固体			
状	融点	Ţ		1975 ℃(分解)			
等	沸点	Ţ		_			
	水溶	F解度		1.6mg/L 水(29	$^{\circ}\!$		
	その)他					
取	计 #	 :用途		ゴム(加硫促進	助剤)、塗料(堅練、調合ペイントほか塗膜強化剤)、印刷イン		
扱	土/3			キ、絵具、ガラス	ス(硬質ガラス、光学ガラス)、他		
状況	製造	Ē·輸入量		10 万~100 万	t/年(経産省調査(平成 19 年度))		
174	その	他					
		急性毒性(経口)		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。		
		皮膚腐食性/刺激性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。		
有害性(GHS	健康	眼に対する重篤な 損傷性/刺激性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。		
性	承	生殖細胞変異原性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。		
(GE		発がん性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。		
		生殖毒性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。		
分類)		水生環境有害性		区分1	水生生物に非常に強い毒性		
	環境	(急性毒性)	₽. ₩				
	-570	水生環境有害性 (慢性毒性)		区分1	長期的影響により水生生物に非常に強い毒性		
選定		法規制等		水道水質基準(水質基準項目)			
件の				/////////	VIII AHI		
			例2				
		会における	1 * *				
専門家の意見							
その	その他			要調査項目			

備考		
----	--	--

物質番号	物質名	CAS No.
2	銅及びその化合物	_

		 項目			データ等		
	化学				, , ,		
	分子量(式量)						
性	常温での状態						
状等	融点						
,,	沸点						
		解度 ///					
TT	その	<u>' </u>					
取扱		:用途					
状		i·輸入量					
況	その						
		急性毒性(経		_			
		皮膚腐食性/		_	_		
有	健	眼に対する		_	_		
有害性	健康	損傷性/刺激					
		生殖細胞変異原性		_	_		
(GHS		発がん性		_	_		
		生殖毒性		_	_		
分類		水生環境有害性		_	_		
	環境	(急性毒性)					
	境	水生環境有害性		_	_		
		(慢性毒性)					
				排水基準(生活	古環境項目)		
		No. 1 mg a tata		要監視項目			
		法規制等			(水質基準項目)		
選兌	_ , ,			水道水質基準(水質管理目標設定項目)			
件の			I		認された物質(水質事故)		
当場	大況	+ 1/ o +n +h	721-1		でで 10%以上)の貯槽に亀裂が入り、4㎡が施設内及び河川に		
		事故の報告	例1		下部が劣化し破損していたため。流出した河川の魚が多数		
		事例	7710	死亡した。			
II-NI	L	[A]= 1-11-	例2	_			
	作業委員会における 専門家の意見						
- 専門	1家の)		主仏カットは	で、ケケント(中山北)		
				毒物及び劇物			
7 ~	w - //				物質リスト(環境リスク「高」)		
その	7他				物質リスト(環境リスク「中」)		
					(附属書 I 掲載物質)		
				要調査項目			

備考 要監視項目の農薬「オキシン銅(有機銅)」を含む。

物質番号	物質名	CAS No.
2 参考資料	塩化銅(I)(物質群「銅及びその化合物」の個別物質の例)	7758-89-6

		項目			データ等
	化学式			CuCl	
	分子量(式量)			98.999	
性	常温での状態			灰白色粉末	
性状等	融点			430 ℃	
等	沸点			_	
	水溶	解度		0.236g/L(25℃)
	その	他		塩酸、アンモニ	アに可溶
取	主な	:用途		フタロシアニン	ブルーの原料、農薬原料、塩素化触媒
扱状	製造	ē·輸入量		10 万~100 万	t/年(経産省調査(平成 19 年度))
況	その	他			
		急性毒性(経	口)	区分3	飲み込むと有毒
		皮膚腐食性/	刺激性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
有害性(GHS	健康	眼に対する] 損傷性/刺激		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
性	承	生殖細胞変異原性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
(GE		発がん性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		生殖毒性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
分類)	環	水生環境有害 (急性毒性)	导性	区分1	水生生物に非常に強い毒性
	環境	水生環境有害 (慢性毒性)	手性	区分1	長期的影響により水生生物に非常に強い毒性
選兌	官条	≿ 法規制等		水道水質基準	(水質基準項目)
件の	該	事故の報告	例1		
当步	大況 事例 例2		例2		
作業	美委員会における				
専門	門家の意見				
				毒物及び劇物	* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *
その)他			GHS分類対象物質リスト(環境リスク「高」)	
				要調査項目	

備考	
1 11m Æ	
1 1/HI 1/J	

物質番号	物質名	CAS No.
2 参考資料	塩化銅(II)(物質群「銅及びその化合物」の個別物質の例)	7447-39-4

	項目				データ等	
	化学式			Cu Cl ₂		
	分子量(式量)			170.48		
性	常温での状態			青緑色潮解性の結晶		
性状等	融点			630℃		
等	沸点	į		993℃		
	水泻	解度		水、アルコール、アセトンに可溶		
	その	他		無水のものは茶	· 褐色粉末	
取	主な	:用途		ヘキスト・ワッカ	一法触媒、E. D. C. 触媒、媒染剤、葉緑素製造、顔料	
扱状	製造	ē·輸入量		10 万~100 万	t/年(経産省調査(平成 19 年度))	
況	その	他				
		急性毒性(経	口)	区分3	飲み込むと有毒	
		皮膚腐食性/	刺激性	区分2	皮膚刺激	
有害性(GHS	健康	眼に対する 損傷性/刺激		区分2	強い眼刺激	
性	/AK	生殖細胞変昇	具原性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
GE.		発がん性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
		生殖毒性		区分2	生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い	
分類)	環	水生環境有害 (急性毒性)	导性	区分1	水生生物に非常に強い毒性	
	環境	水生環境有害 (慢性毒性)	手性	区分1	長期的影響により水生生物に非常に強い毒性	
選兌	官条	法規制等		水道水質基準	(水質基準項目)	
件の)該	事故の報告	例1			
当北	犬況	事例	例2			
作美	美委員会における					
専門	門家の意見					
				毒物及び劇物	取締法(劇物)	
その)他				物質リスト(環境リスク「高」)	
				要調査項目		

備考	
1 11m Æ	
1 1/HI 1/J	

物質番	号物質名	CAS No.
3	マンガン及びその化合物	_

		項目	データ等		
	化学	式			
灶	分子	- 量(式量)			
	常温	上での状態			
性状等	融点	į			
等	沸点	į			
	水溶	ド解度			
	その				
取		:用途			
扱状	製造	·輸入量			
況	その				
		急性毒性(経口)			
		皮膚腐食性/刺激性			
有	健	眼に対する重篤方	`		
害	康	損傷性/刺激性			
有害性(GHS		生殖細胞変異原性			
HE		発がん性			
分		生殖毒性			
分類	環境	水生環境有害性			
		(急性毒性)			
	児	水生環境有害性			
		(慢性毒性)			
			排水基準(生活環境項目)		
選定	2条	法規制等	要監視項目 水道水質基準(水質基準項目)		
件の	該		水道水質基準(水質基準場百) 水道水質基準(水質管理目標設定項目)		
当步	代況	事故の報告 例1	小戶小頁坐中(小頁百姓口/示政人項口)		
		事例 例2			
作当	经委員	会における			
		意見			
その			GHS分類対象物質リスト(環境リスク「中」)		
	, jes				

備考	

物質番号	物質名	CAS No.
3	シクロペンタジエニルトリカルボニルマンガン	10070 CF 1
参考資料	(物質群「マンガン及びその化合物」の個別物質の例)	12079-65-1

		項目			データ等	
	化学式			$C_8H_8MnO_3$		
	分子量(式量)			207.09		
性	常温での状態			黄色の結晶		
状	融点	Ţ		77 ℃(昇華点)		
等	沸点	Ī.		_		
	水溶	F解度		溶けにくい		
	その	他		可燃性		
取		用途		触媒原料		
扱状	製造	Ē· 輸入量				
況	その	-				
		急性毒性(経		区分2	飲み込むと生命に危険	
		皮膚腐食性/		区分2	皮膚刺激	
有害性(GHS	健康	眼に対する 損傷性/刺激		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
性		生殖細胞変異	具原性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
(GH		発がん性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
		生殖毒性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
分類)	環境	水生環境有害性 (急性毒性) 水生環境有害性 (慢性毒性)		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
				分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
選定	字条 法規制等		要監視項目			
選り	_ , ,		1	水道水質基準	(水質基準項目)	
当場		事故の報告	例1			
		事例	例2			
	美委員会における					
	専門家の意見					
その	その他			_		

備考	
----	--

物質番号	物質名	CAS No.
3	過マンガン酸カリウム(VII)	7799 64 7
参考資料	(物質群「マンガン及びその化合物」の個別物質の例)	7722-64-7

		項目			データ等		
	化学	全式		$KMnO_4$			
	分子量(式量)			158.04			
性	常温	且での状態		深紫色の結晶			
状等	融点	Ī.		240 ℃(分解)			
等	沸点	Ī.		_			
	水泻	\$解度		64g/L(20 ℃).	、実測値		
	その)他		アセトン、メタノ	ールに可溶		
取	主ナ	常用途			どの除去剤、臭気・有機物の除去剤、繊維・樹脂・油脂などの		
扱				漂白剤、他			
沢		5・輸入量		100~1000t/年	- (経産省調査(平成 19 年度))		
100	その	,					
		急性毒性(経口)		区分4	飲み込むと有害		
	健康	皮膚腐食性/		区分1	重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷		
有害性(GHS		眼に対する重篤な 損傷性/刺激性		区分1	重篤な眼の損傷		
性		生殖細胞変異	具原性	区分2	遺伝性疾患のおそれの疑い		
GH		発がん性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。		
		生殖毒性		区分2	生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い		
分類	環境	水生環境有害性 (急性毒性)		区分1	水生生物に非常に強い毒性		
		水生環境有害性 (慢性毒性)		区分1	長期的影響により水生生物に非常に強い毒性		
選定		法規制等		要監視項目 水道水質基準	(水質基準項目)		
件の		事故の報告	例1				
当均	八八	事例	例2				
作業	作業委員会における						
専門	月家σ	意見					
その	他			GHS分類対象	物質リスト(環境リスク「中」)		

物質番号	物質名	CAS No.
3	硫酸マンガン(II)(物質群「マンガン及びその化合物」の個別物質の	7785-87-7
参考資料	例)	1100-01-1

		項目			データ等		
	化学式			MnSO ₄			
	分子量(式量)			151			
性	常温での状態			潮解性のある固体			
性状等	融点	į		700 ℃			
等	沸点	į		850℃			
	水溶	ド解度		520g/L 水(5℃)		
	その	他					
取		:用途		乾燥剤(塗料、	印刷インキ用)、窯業用顔料(リン酸マンガン、陶試紅)、他		
扱状	製造·輸入量			100~1000t/年	(経産省調査(平成 19 年度))		
況	その他						
		急性毒性(経	口)	区分4	飲み込むと有害		
		皮膚腐食性/	刺激性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。		
有害性(GHS	健康	眼に対する 損傷性/刺激		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。		
性		生殖細胞変異	具原性	区分2	遺伝性疾患のおそれの疑い		
(GE		発がん性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。		
		生殖毒性		区分2	生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い		
分類)	環境	水生環境有害 (急性毒性)	手性	区分3	水生生物に有害		
		水生環境有害性 (慢性毒性)		区分3	長期的影響により水生生物に有害		
\zz. /_			要監視項目				
選定 件の		法規制等		水道水質基準(水質基準項目)			
当出		事故の報告	例1				
=1/	ハシロ	事例	例2				
作業	美委員	会における					
専門	胃家の	意見					
その)他			GHS分類対象	物質リスト(環境リスク「中」)		

	備考		
--	----	--	--

物質番号	物質名	CAS No.
4	フェノール類及びその塩類	_

	項目				データ等	
	化学	注式				
	分子量(式量)					
性	常温での状態					
状等	融点					
等	沸点					
	水溶	F解度				
	その他					
取		:用途				
扱状	製造	ē·輸入量				
況	その	他				
		急性毒性(経口)		_	-	
		皮膚腐食性/刺激性		_	_	
有	健	眼に対する重篤な		_	_	
有害性(GHS	康	損傷性/刺激性				
性((生殖細胞変異原性		_	_	
HE		発がん性		_	_	
		生殖毒性		_	_	
分類		水生環境有害性		_	_	
	環	(急性毒性)				
	境	水生環境有害性 (慢性毒性)		_	_	
		() 世代 ()		出し、甘滋(4.) Y		
				排水基準(生活水)		
選兌	2条			水道水質基準(水質基準項目) 要監視項目		
件の	該			安監倪頃日 事故事例が確認された物質(水質事故)		
当步	代況	事故の報告	例1	争以争例が推	心色(1/1/初貝(小貝爭以)	
		事例の報句	例2			
作当	作業委員会における			水道水の水質	基準項目であり、また過去の事故事例が報告されている。ま	
	専門家の意見			が追ぶの水質差壁項目 Cのり、また過去の事成事例が報 口されている。また、臭気の観点からも特に重要と考えられる。		
,31	可日本の応見			た、		
					物質リスト(環境リスク「高」)	
その)他				物質リスト(環境リスク「中」)	
					(附属書 I 掲載物質)	
				要調査項目	- "	

「評価においてはフェノール、クレゾールを用いたが、指定物質としてはその他のフェノール類も 概念に含むものとする。

物質番号	物質名	CAS No.
4 参考資料	フェノール(物質群「フェノール類及びその塩類」の個別物質の例)	108-95-2

		項目			データ等	
	化学	全式		C ₆ H ₆ O		
	分子量(式量)			94.11		
性	常温での状態			白色結晶塊状		
状	融点			40.9 ℃		
等	沸点			181.8 ℃		
	水浴	· 解度		82.8g/L(25℃)、実測値		
	その他			灼くような味があ	あり、特異臭がある。	
取扱	主な	常用途		消毒剤、歯科用 中間物の製造、	月(局部麻酔剤)、ピクリン酸、サリチル酸、フェナセチン、染料 、他	
状	製造	步•輸入量		10 万~100 万	t/年(経産省調査(平成 19 年度))	
況	その)他				
		急性毒性(経口)		区分4	飲み込むと有害	
		皮膚腐食性/刺激性		区分1	重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷	
有害性	健康	眼に対する重篤な 損傷性/刺激性		区分1	重篤な眼の損傷	
性	承	生殖細胞変異	具原性	区分1	遺伝性疾患のおそれ	
(GHS		発がん性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
		生殖毒性		区分1	生殖能または胎児への悪影響のおそれ	
分類)	環境	水生環境有害性 (急性毒性)		区分2	水生生物に毒性	
		水生環境有害性 (慢性毒性)		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
		法規制等		水道水質基準	(水質基準項目)	
					車のタンクに亀裂が発生し、タンク中のフェノール(原体)約 10	
選兌		条	例1	リットルが工場内で漏洩した。荷降しの際の手順に誤りがあり、タンクに負圧		
件の		事故の報告			S発生したため。被害報告はない。	
当步	犬況	事例			イプラインで移送中、フランジ部から約 193t が流出した。その	
			例2		溝から海上に流出した。配管のガスケットが破損したことによ	
16-30	ムイ.ロ	1 4 1 - 1 - 1 - 2		る。また、防波は	是のバルブが開放されていたことから海域に流出した。	
		会における				
- 男門	専門家の意見			主州カフィッキロルコ	5.4文字/ (南川州···)	
7.0	\lub			毒物及び劇物		
その	71世			BHS分類对象 要調査項目	物質リスト(環境リスク「中」)	
				安酮宜垻目		

備考	
----	--

物質番号	物質名	CAS No.
4 参考資料	クレゾール(物質群「フェノール類及びその塩類」の個別物質の例)	1319-77-3

		項目			データ等	
	化学	之式		CH ₃ C ₆ H ₄ OH		
	分子	分子量(式量)		108.1		
	労用べの小器			純品は無色の液体(m-)、白色結晶(o-, p-)、いずれも石炭酸(フェノール)		
性状	常温での状態			のような臭気。		
等	融点			29.8℃(オルト体)		
	沸点			191℃(オルト体)		
		F解度		9.07 g/L(25 °C		
	その他				ーテル、クロロホルムに可溶、水には微溶	
取扱		用途			対脂、ワニス、TCP(可塑剤)、他	
状		Ē·輸入量		1万~10万 t/s	年(経産省調査(平成 19 年度))	
況	その		>	F /\ 4	M-7 \1 + 1 + rt=	
		急性毒性(経口)		区分4	飲み込むと有害	
		皮膚腐食性/刺激性 眼に対する重篤な		区分1	重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷	
有害性	健			区分1	重篤な眼の損傷	
古性	康	損傷性/刺激性 生殖細胞変異原性		区分外	 十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
(GHS		発がん性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
		生殖毒性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
分類	環境	水生環境有害性				
8		(急性毒性)		区分2	水生生物に毒性	
		水生環境有害性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
		(慢性毒性)				
	法規制等				(水質基準項目)	
		事故の報告	-		ていたクレゾール石鹸(500ml1本)(クレゾール濃度 50%)の上	
			例1		「して瓶上部にひびが入り、そこから少量漏れだした。被害報	
池之	シタ			告はない。	400/ H S 3 C 100/ H S 3 05 450/ 6	
選定					-43%、o-クレゾール 6~16%、m-、p-クレゾール 35~45%の 数地内のタンクから運搬用容器へ移し替える作業中に、約	
当为			* * *			
	NDL.	# [7]	例2			
			1732	る。作業中に担当者が現場を離れ、容器が満杯になっていることに気が付か なかったことによる。因果関係は不明であるが、工場下流の水道水から国の		
				基準値を超えるフェノール類が検出され、3,300世帯が11日間にわたり断水		
				した。	De la	
作業	作業委員会における					
專門	月家の	意見				
				毒物及び劇物	取締法(劇物)	
その)他				物質リスト(環境リスク「中」)	
				要調査項目		

1-111-v	
備考	
Vm J	

物質番号	物質名	CAS No.
4	0-クレゾール	05 49 7
参考資料	(物質群「フェノール類及びその塩類」の個別物質の例)	95-48-7

		項目			データ等	
	化学式		C_7H_8O			
	分子量(式量)		108.14			
性	常温での状態		純品は白色結晶、石炭酸(フェノール)のような臭気。			
性状	融点		29.8 ℃			
等	沸点	Ĭ.		191.0 ℃		
	水泻	孫解度		25.9g/L(25 °C	C)	
	その	他				
取	主な	:用途		エポキシ樹脂、	クマリン、潤滑油精製用	
扱状	製造	Ē·輸入量		1万~10万 t/	年(経産省調査(平成 19 年度))	
況	その	他				
		急性毒性(経	口)	区分3	飲み込むと有毒	
		皮膚腐食性/刺激性		区分1	重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷	
有	独	眼に対する重篤な 損傷性/刺激性		区分1	重篤な眼の損傷	
有害性(GHS	健康					
性()	,,,,	生殖細胞変異原性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
GH		発がん性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
		生殖毒性		区分2	生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い	
分類		水生環境有害性		区分2	水生生物に毒性	
	環境	(急性毒性)			7. — — 100 — 74 —	
	境	水生環境有害	手性	区分外	 十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
		(慢性毒性)				
選兌		法規制等	T	水道水質基準(水質基準項目)		
件の		事故の報告	例1			
当岁		事例	例2			
作業委員会における						
専門	引家の	意見				
	その他			毒物及び劇物		
(to					や物質リスト(環境リスク「高」)	
			要調査項目			

/±: ±/.	
備考	
1 htt - 2	

物質都	番号	物質名	CAS No.
5		鉄及びその化合物	_

		項目			データ等	
	化学式					
	分子量(式量)					
性	常温での状態					
状等	融点					
等	沸点					
	水溶	解度				
	その	他				
取	主な	:用途				
扱状	製造	ē·輸入量				
況	その	<u>' </u>				
		急性毒性(経		_	_	
		皮膚腐食性/刺激性		_	_	
有	健	眼に対する重篤な		_	_	
有害性(GHS	康	損傷性/刺激性				
		生殖細胞変異原性		_	_	
SHE		発がん性		_		
分類		生殖毒性		_	_	
類	環	水生環境有害性 (急性毒性)		_	_	
	境	水生環境有害性				
		(慢性毒性)		_	_	
				排水基準(生活		
		法規制等		水道水質基準(水質基準項目)		
選兌			ı	事故事例が確認された物質(水質事故)		
件の		+ W = +0 +b	721-1		誤りで溶液を運ぶ管から塩化第一鉄溶液が工場内に漏れ、さ	
当均	大況	事故の報告	例1	*	k抜きバルブが開いていたため谷田川に流入した。被害報告	
		事例	FIO	はない。		
化二出	例2 例2 作業委員会における			_		
	専門家の意見					
		ルンロ		- 	取締法(劇物)	
その	その他			毒物及び劇物取締法(劇物) GHS分類対象物質リスト(環境リスク「中」)		
				O110/1/2/11/2/	NM 殊フィーロVIVUIJ1 / ソートコ/	

備考	

物質番号	物質名	CAS No.
5 参考資料	酸化鉄(物質群「鉄及びその化合物」の個別物質の例)	1309-37-1

項目					データ等	
	化学式		Fe ₂ O ₃			
	分子量(式量)		159.7			
性	常温	こでの状態		赤褐色粉末(六方晶系)		
状	融点	Ţ		1539℃		
等	沸点	Ī.		_		
	水泻	F解度		500∼600 g/L(20°C)	
	その)他		水には溶けない	が、酸には溶ける	
取	1:1:	用途		磁性材料(フェ	ライト及び磁気録音録画テープの主原料)、塗料(船底塗料、	
扱	土/3	·/TI/ZE		さび止塗料)、同	印刷インキ、他	
状況	製造	₺•輸入量		100万~1000万	万 t/年(経産省調査(平成 19 年度))	
<i>V</i> u	その	他				
		急性毒性(経		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
		皮膚腐食性/	刺激性	区分2	皮膚刺激	
有	<i>l</i> 7=1+	眼に対する重篤な		区分1	重篤な眼の損傷	
有害性(GHS	健康	損傷性/刺激				
性()	/24	生殖細胞変異	具原性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
HE		発がん性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
		生殖毒性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
分類		水生環境有害性		分類できない	 十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
	環境	(急性毒性)		77 XX C C - & C		
	現	11 T N N 11 T T		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
722 -	¬ #7	(慢性毒性)			(1.55++)4	
	定条 法規制等		水追水質基準	(水質基準項目)		
件の		事故の報告	例1			
	火況	事例	例2			
	作業委員会における					
	専門家の意見					
₹0,	その他			_		

/ *** - **	
備考	

物質番号	物質名	CAS No.
5 参考資料	塩化鉄(Ⅱ) (物質群「鉄及びその化合物」の個別物質の例)	7705-08-0

		項目			データ等
	化学式		FeCl ₃		
	分子量(式量)		162.22		
性	常温での状態		(無水物)黒褐色六方晶系結晶		
状等	融点	Ī.		307.6 ℃	
等	沸点	Ī.		~316 °C	
	水泻	\$解度		91.2 g/100mL((25℃)
	その)他		水、アルコール	、エーテルに可溶。
取	主な	用途		プリント配線・ネ	・一ムプレート・シャドーマスク(金属板腐食液)、他
扱状	製造	步•輸入量		10 万~100 万	t/年(経産省調査(平成 19 年度))
況	その	. —			
		急性毒性(経口)		区分4	飲み込むと有害
		皮膚腐食性/刺激性		区分1	重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
有害性(GHS	健康	眼に対する重篤な 損傷性/刺激性		区分1	重篤な眼の損傷
性		生殖細胞変異原性		区分2	遺伝性疾患のおそれの疑い
(GH		発がん性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
		生殖毒性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
分類)	環	水生環境有害 (急性毒性)	手性	区分2	水生生物に毒性
	環境	党 水生環境有害性 (慢性毒性)		区分2	長期的影響により水生生物に毒性
選兌			水道水質基準	(水質基準項目)	
件の)該 事故の報告 例1				
当步	犬況	事例	例2		
作業	業委員会における				
専門	門家の意見				
その)他	他		GHS分類対象	物質リスト(環境リスク「中」)

備考	
----	--

物質番号	物質名	CAS No.
5 参考資料	鉄力ルボニル(物質群「鉄及びその化合物」の個別物質の例)	13463-40-6

	項目				データ等
	化学式		$C_5 FeO_5$		
	分子量(式量)		195.9		
性	常温での状態		無色または黄色の粘稠液体		
状	融点	Ţ		-20 °C	
等	沸点	Ĭ.		103℃	
	水泻	孫解度		100mg/L(24℃)
	その)他		引火性が高い	
取	主な	用途		カルボニル鉄集	り 造原料, 触媒, 純鉄原料
扱状	製造	Ē·輸入量			
況	その	他			
		急性毒性(経	口)	区分2	飲み込むと生命に危険
		皮膚腐食性/	刺激性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
有害性	健康	眼に対する重篤な 損傷性/刺激性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
性		生殖細胞変異原性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
(GHS		発がん性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		生殖毒性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
分類)	環境	水生環境有害 (急性毒性)	手性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
	境	水生環境有害性 (慢性毒性)		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
選定条 法規制等		法規制等		水道水質基準	(水質基準項目)
件の	う該	事故の報告	例1		
当步	当状況 事例 例2				
作業	作業委員会における				
專門	専門家の意見				
その	その他			_	

備考

物質番号	物質名	CAS No.
6	クロム及びその化合物(6価クロム化合物を除く)	_

	項目				データ等	
	化等	全式				
	分子	产量(式量)				
性	常温	且での状態				
性状等	融点					
等	沸点	Ī.				
	水汽	\$解度				
	その)他				
取	主な	用途				
取扱状況	製造	b·輸入量				
況	その)他				
		急性毒性(経	口)	_	_	
		皮膚腐食性/	刺激性	_	_	
有	<i>l</i> 7:#+	眼に対する重篤な		_	_	
害	健康	損傷性/刺激性				
性(/2/	生殖細胞変異原性		_	_	
有害性(GHS		発がん性		_	_	
		生殖毒性		_	_	
分類)		水生環境有害	手性	_	_	
	環境	(急性毒性)				
	境	水生環境有害	手性	_	_	
		(慢性毒性)				
	官条	法規制等	1	排水基準(生活	5環境項目)	
件の		事故の報告	例1			
当状況 事例 例2						
作業委員会における						
專門	専門家の意見					
マの	その他			毒物及び劇物	取締法(劇物)	
C * > 1E				要調査項目		

備考		

物質番号	物質名	CAS No.
6	クロム(物質群「クロム及びその化合物(6価クロム化合物を除く)」の個	7440 47 2
参考資料	別物質の例)	7440-47-3

	項目				データ等	
	化学式		Cr			
	分子量(式量)		52			
性	常温での状態		固体			
状等	融点	Ī.		1900℃		
等	沸点	Ŕ		2642℃		
	水泻	溶解度		86.7g/L(25℃)	、推定値	
	その)他				
取	主な	用途		合金,特殊鋼原	「料,防錆, メッキ用	
扱状	製造	步•輸入量		3800t/年(化学	学商品(2007年の輸入量(塊,粉)))	
況	その	· -				
		急性毒性(経	口)	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
		皮膚腐食性/	刺激性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
有害性(GHS	健康	眼に対する重篤な 損傷性/刺激性		区分2	強い眼刺激	
性	承	生殖細胞変昇	具原性	区分2	遺伝性疾患のおそれの疑い	
(GH		発がん性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
		生殖毒性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
分類)	環	水生環境有害 (急性毒性)	手性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
	境	水生環境有害性 (慢性毒性)		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
選兌	官条	法規制等		-		
件の	う該	事故の報告	例1			
当步	犬況	事例	例2			
作業	作業委員会における					
専門	専門家の意見					
その	その他			要調査項目		

備考

物質番号	物質名	CAS No.
7	1,4-ジオキサン	123-91-1

項目					データ等
	化学	兰 式		$C_4H_8O_2$	
	分子量(式量)		88.11		
性	常温での状態		臭気のある無色の液体		
状	融点		11.8°C		
等	沸点		101.5 ℃		
	水溶解度		1000g/L(20℃)、実測値	
	その)他		酸化剤、強酸と	
取	主な	用途			支革用、反応用の溶剤、塩素系溶剤、医薬品用、農薬用
扱	製造	b·輸入量		5300t/年(化新	審法届出(平成 20 年度))
況	その)他			
		急性毒性(経	口)	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
		皮膚腐食性/	刺激性	区分2	皮膚刺激
右	tt-	眼に対する	重篤な	FAS	強い眼刺激
有害性	健康	損傷性/刺激性		区分2	75世 15世 15b 15b
性	涿	生殖細胞変異原性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
(GHS		発がん性		区分2	発がんのおそれの疑い
		生殖毒性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
分類	環	水生環境有害性 (急性毒性)		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
	境	水生環境有害性 (慢性毒性)		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
	I	(区江井江)		水質環境基準	(健康項目)
		法規制等			(水質基準項目)
				事故事例が確	認された物質(水質事故)
\aa 년	→ <i>A</i> 7			京都府の簡易	水道の浄水場における定期水質検査で、1,4-ジオキサンが水
選定	_ ,			質基準(0.05mg/L)を超えて検出(0.076mg/L)されたため、一時的に取水と	
件の		事状の却件	例1	給水が停止された。健康被害の報告はなかった。流域の廃棄物処理施設で	
当均	人/江	事故の報告 事例		使用していたメタノール運搬用タンクローリーの洗浄に使用された 1,4-ジオ	
		事 例		キサンが残留し	したままだったことが原因と推定される。
			例2	大阪府の浄水	場の原水等において 1,4-ジオキサンが検出されたため、取水
			ניקן 🛆	を一時停止する	るなどの措置を行った。原因は不明である。
作業	美委員	会における			
	専門家の意見				
その	その他			_	

備考		
----	--	--

物質番号	物質名	CAS No.
8	トランス-1,2-ジクロロエチレン	156-60-5

		項目			データ等	
	化学	兰式		$C_2H_2Cl_2$		
	分子量(式量)		96.94			
性	常温	こでの状態		無色の液体		
状等	融点	Ţ		-49.8℃		
等	沸点	Ţ		48.7℃		
	水泻	F解度		4.52g/L(25℃)	、実測値	
	その	他				
取	主な	用途 用途		溶剤, 塩素系溶	学剤原料	
扱状	製造	₺•輸入量		100t/年 未満	(化審法届出(平成 20 年度))	
況	その	,				
		急性毒性(経		区分4	飲み込むと有害	
		皮膚腐食性/刺激性		区分2	皮膚刺激	
有害性	健康	眼に対する		区分2	強い眼刺激	
性	/AK	生殖細胞変異	具原性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
(GHS		発がん性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
		生殖毒性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
分類	環	水生環境有害 (急性毒性)	手性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
	境	水生環境有害 (慢性毒性)	手性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
				環境基準(地下	水環境基準項目)	
選兌	官条	法規制等		要監視項目		
件の			ı	水道水質基準	(水質基準項目)	
当步	犬況	事故の報告	例1			
		事例	例2			
	作業委員会における					
		意見				
その)他			_		

211. La				
	1			
備考	<u> </u>			
1 1/111/17	7			
Nun 7	,			

物質番号	物質名	CAS No.
9	塩化ビニルモノマー	75-01-4

	項目				データ等	
	化学式			C ₂ H ₃ Cl		
	分子量(式量)		62.5			
性	常温	1での状態		無色の気体		
状等	融点	Ī.		−153.7°C		
等	沸点	Ŕ		−13.3°C		
	水浴	溶解度		8.8g/L(25℃)、	実測値	
	その)他				
取	`` +	用途		ポリ塩化ビニル	、塩化ビニル-酢酸ビニル共重合体、塩化ビニリデン-塩化ビ	
扱状	土/3	-		ニル共重合体の	D合成	
状 況	製造	步•輸入量		240 万 t/年(作	上審法届出(平成 20 年度))	
104	その)他				
		急性毒性(経	口)	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
		皮膚腐食性/	刺激性	区分2	皮膚刺激	
有	/z :b ·	眼に対する重篤な		区分2	強い眼刺激	
有害性	健康	損傷性/刺激性			JAY HAZIYUM	
性	// /	生殖細胞変異	具原性	区分2	遺伝性疾患のおそれの疑い	
(GHS		発がん性		区分1	発がんのおそれ	
		生殖毒性		区分2	生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い	
分類		水生環境有害	手性	区分3	水生生物に有害	
	環境	(急性毒性)		E 73 0	7	
	境	水生環境有害	手性	区分3	長期的影響により水生生物に有害	
		(慢性毒性)				
	選定条法規制等		要監視項目			
件の		事故の報告	例1			
	当状況 事例 例2					
	作業委員会における					
	専門家の意見			1.74 1.55 # 3/4	(III M 21 / II I I	
その	その他			水道水質基準(要検討項目)		

備考	
1 11m Æ	
1 1/HI 1/J	

物質番号	物質名	CAS No.
10	クロロホルム	67-66-3

項目					データ等	
	化学	全式		CHCl ₃		
	分子量(式量)			119.38		
性	常温	1での状態		無色透明の液体		
状	融点	Ī.		-63.6℃		
等	沸点	Ī.		61.1℃		
	水浴	溶解度		7.95g/L(25℃)	、実測値	
	その	他			生下で比較的容易に分解	
取	主 :ナ	用途		フッ素系冷媒、	フッ素樹脂の製造、溶剤(ゴム、グッタペルカ、鉱油、他)、有	
扱				機合成、他		
状況		臣•輸入量		4.3 万 t/年(们	上審法届出(平成 20 年度))	
	その	· -			:	
		急性毒性(経		区分4	飲み込むと有害	
		皮膚腐食性/		区分1	重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷	
有害性	健康	眼に対する重篤な 損傷性/刺激性		区分1	重篤な眼の損傷	
性	1314	生殖細胞変異原性		区分2	遺伝性疾患のおそれの疑い	
(GHS		発がん性		区分2	発がんのおそれの疑い	
		生殖毒性		区分2	生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い	
分類)	環	水生環境有害性 (急性毒性)		区分2	水生生物に毒性	
	境	水生環境有害 (慢性毒性)	手性	区分2	長期的影響により水生生物に毒性	
選兌	⇒ 久	法規制等			(水質基準項目) 認された物質(水質事故)	
件の 当場	該	事故の報告 事例 "	例1	たクロロホルムが散した。被害は		
			例2		8立方メートル)から、タンク基礎部のアスファルトに流出した。 引。)被害は特になし。	
作業	作業委員会における					
専門	専門家の意見					
その)他			GHS分類対象	物質リスト(環境リスク「中」)	

備考	「トリハロメタン」のうち、当該物質のみ一括指定はせず、別掲する。
1 / 1 / 5	「「ツハログク」のフラ、ヨ政物員のか 1白日足はせょ、別均りの。

物質番号	物質名	CAS No.
11	トルエン	108-88-3

	項目				データ等	
	化学	兰 式		C ₇ H ₈		
	分子量(式量)			92.14		
性	常温での状態			無色透明の液体。		
状	融点			-94.9℃		
等	沸点	Ţ		110.6℃		
	水溶	解度		0.526 g/L(25°C	C)、実測値	
	その)他		水に不溶、ベン	/ゼン、アルコール、エーテルによく溶ける。	
取	主な	用途		染料、香料、火	薬(TNT)、有機顔料、合成クレゾール、甘味料、漂白剤、他	
扱状	製造	步•輸入量		100 万~1000	万 t/年(経産省調査(平成 19 年度))	
況	その)他				
		急性毒性(経		区分5	飲み込むと有害のおそれ	
		皮膚腐食性/刺激性		区分2	皮膚刺激	
有	健	眼に対する重篤な		区分2	強い眼刺激	
有害性	康	損傷性/刺激性			1 ハムは知ぶ得となると 目まげい アハトかき 大安地 かげい	
()		生殖細胞変異原性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
(GHS		発がん性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
		生殖毒性		区分1	生殖能または胎児への悪影響のおそれ	
分類	環	水生環境有害性 (急性毒性)		区分2	水生生物に毒性	
	境	水生環境有害性 (慢性毒性)		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
				要監視項目		
		法規制等		水道水質基準(水質管理目標設定項目)		
選兌	官条			事故事例が確認された物質(水質事故)		
件の)該		例1	トルエン還流作	業中に作業者のミスにより突沸し、約500Lが流出した。作業	
当步	犬況	事故の報告	1911 1	員3名がトルエ	ンガスを吸入し、病院に運ばれた。河川流出の状況は不明。	
		事例	例2	工場内配管から	ら配管劣化のためトルエン(99.8%)約200Lが漏洩した。被	
				害は特になし。		
	作業委員会における					
専門	専門家の意見					
マの	その他			毒物及び劇物		
ر ک				悪臭防止法(特定悪臭物質)		

fills also	
備考	
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
D113 3	

物質番号	物質名	CAS No.
12	イソキサチオン	18854-01-8

		項目			データ等	
	化学式			$C_{13}H_{16}NO_4PS$		
	分子	'量(式量)		313.31		
性	常温での状態			黄色の液体		
状	融点	Ī.		< 25℃		
等	沸点	Ē		160℃		
	水溶	序解度		1.9 mg/L(25℃	2)、実測値	
	その	他				
取		:用途		農薬(殺虫剤)		
扱状	製造	臣•輸入量		74t/年(農薬扌	性計値(平成 20 年度))	
況	その	· -				
		急性毒性(経		区分3	飲み込むと有毒	
		皮膚腐食性/刺激性		区分3	軽度の皮膚刺激	
有害性(GHS	健康	眼に対する重篤な 損傷性/刺激性		区分2	強い眼刺激	
性	涿	生殖細胞変異原性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
(GH		発がん性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
		生殖毒性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
分類	環	水生環境有害性 (急性毒性)		区分1	水生生物に非常に強い毒性	
	境	水生環境有害性 (慢性毒性)		区分1	長期的影響により水生生物に非常に強い毒性	
選定	,,.	法規制等		要監視項目 水道水質基準	(水質管理目標設定項目)	
件 σ		事故の報告	例1			
=1/	√.OL	事例	例2			
作弟	作業委員会における					
専門	専門家の意見					
その	その他			毒物及び劇物	取締法(劇物)	

備考	要監視項目に該当する農薬
----	--------------

物質番号	物質名	CAS No.
13	ダイアジノン	333-41-5

	項目				データ等
	化学式			$C_{12}H_{21}N_2O_3PS$	
	分子量(式量)		304.35		
性	常温での状態		無色の油状液体		
状	融点	Ę		< 25℃	
等	沸点	Ī.		125℃(分解)	
	水溶	解度		40 mg/L(25°C))、実測値
	その)他			
取	主な	用途		農薬(殺虫剤)	
扱状	製造	₺∙輸入量		100t/年 未満	(化審法届出(平成 20 年度))
況	その)他			
		急性毒性(経	口)	区分4	飲み込むと有害
		皮膚腐食性/	刺激性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
有害性	健康	眼に対する重篤な 損傷性/刺激性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
性	承	生殖細胞変異原性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
(GHS		発がん性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
		生殖毒性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
分類	環	水生環境有害性 (急性毒性)		区分1	水生生物に非常に強い毒性
	境	水生環境有害性 (慢性毒性)		区分1	長期的影響により水生生物に非常に強い毒性
選定	= ', ' ' ' ' ' ' ' '			要監視項目 水道水質基準	(水質管理目標設定項目)
件の		事故の報告	例1		
当場	八/兀	事例	例2		
作業	作業委員会における				
専門	専門家の意見				
その)他			毒物及び劇物	取締法(劇物)

備考	要監視項目に該当する農薬
----	--------------

物質	番号	物質名	CAS No.
14	4	アンチモン及びその化合物	

					データ等	
	化学					
		·量(式量)				
性	常温	こでの状態				
	融点					
等	沸点	Ī.				
	水溶	序解度				
	その)他				
取	主な	用途				
扱状	製造	₺・輸入量				
況	その)他				
		急性毒性(経		_	-	
		皮膚腐食性/		_	-	
有	健	眼に対する		_	_	
害	康	損傷性/刺激性				
有害性(GHS		生殖細胞変異原性		_	_	
HE		発がん性		_	_	
		生殖毒性		_	_	
分類		水生環境有害性		_	_	
	環境	(急性毒性)	- I el			
	児	水生環境有害	手性	_	_	
		(慢性毒性)		再胜扫石口		
選舞	官条	法規制等		要監視項目 水道水質基準(水質管理目標設定項目)		
件の	う該	事故の報告	例1	小坦小貝基毕	(小貝官垤日倧政足垻日)	
当北	犬況	事成の報点	例2			
作当	作業委員会における					
	専門家の意見					
その)他				(附属書 I 掲載物質)	

備考		

物質番号	物質名	CAS No.
14	塩化アンチモン(三塩化アンチモン)	10005 01 0
参考資料	(物質群「アンチモン及びその化合物」の個別物質の例)	10025-91-9

	項目				データ等
	化学式		Cl_3Sb		
	分子量(式量)		228.11		
性	常温での状態		刺激性の悪臭を持つ無色の固体		
状等	融点	Ţ.		73℃	
等	沸点	Ĭ.		223.5℃	
	水溶	F解度		1.19g/L(25℃)	、推定値
	その	他		ベンゼン、アセ	トン等に可溶
取	主な	:用途		顔料、触媒、試	薬
扱状	製造	Ē· 輸入量			
況	その	· -			,
		急性毒性(経口)		区分4	飲み込むと有害
		皮膚腐食性/刺激性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
有害性(GHS	健康	眼に対する重篤な 損傷性/刺激性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
性	涿	生殖細胞変異原性		区分2	遺伝性疾患のおそれの疑い
GH		発がん性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		生殖毒性		区分2	生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
分類)	環	水生環境有害 (急性毒性)	手性	区分1	水生生物に非常に強い毒性
	環境	水生環境有害性 (慢性毒性)		区分1	長期的影響により水生生物に非常に強い毒性
選兌	定条	法規制等		要監視項目	
件の	該	事故の報告	例1		
当步	当状況 事例 例2				
作業	作業委員会における				
專門	専門家の意見				
その)他			毒物及び劇物	取締法(劇物)

備考

物質番号	物質名	CAS No.
14	三酸化ニアンチモン	1200 64 4
参考資料	(物質群「アンチモン及びその化合物」の個別物質の例)	1309-64-4

		項目			データ等		
	化学式		$\mathrm{Sb_2O_3}$				
	分子量(式量)			291.52			
性	常温	1での状態		白色粉末			
性状等	融点	Ī.		655℃			
等	沸点	Ī.		1425℃			
	水泻	序解度		微溶			
	その)他		水には難溶、塩	証酸、カ性カリなどには溶解		
取	主な	用途		各種樹脂、ビニ	ル電線、帆布、繊維、塗料などの難燃助剤、他		
扱状	製造	b·輸入量		1000~1 万 t/年	手(経産省調査(平成 19 年度))		
況	その	他					
		急性毒性(経	口)	区分5	飲み込むと有害のおそれ		
		皮膚腐食性/刺激性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。		
有害性	健康	眼に対する重篤な 損傷性/刺激性		区分2	強い眼刺激		
性	承	生殖細胞変異	具原性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。		
(GHS		発がん性		区分1	発がんのおそれ		
		生殖毒性		区分1	生殖能または胎児への悪影響のおそれ		
分類)	環	水生環境有害 (急性毒性)	导性	区分3	水生生物に有害		
	環境	水生環境有害 (慢性毒性)	手性	区分3	長期的影響により水生生物に有害		
選定	官条	法規制等		要監視項目			
件の	該	事故の報告	例1				
当步	犬況	事例	例2				
作業	美委員	会における					
専門	専門家の意見						
その	その他			毒物及び劇物	取締法(劇物)		

備考	
V113 3	

物質番号	物質名	CAS No.
14	五酸化ニアンチモン	1214 60 0
参考資料	(物質群「アンチモン及びその化合物」の個別物質の例)	1314-60-9

		項目			データ等		
	化学式		$\mathrm{Sb_2O_5}$				
	分子量(式量)		323.509				
性	常温	こでの状態		黄色固体			
性状等	融点	Ŕ		380℃(分解)			
等	沸点	Ī.		_			
	水浴	溶解度		微溶			
	その	他		加温した塩酸や	P水酸化カリウムに可溶		
取	主な	用途		各種樹脂•繊維	の難燃剤、顔料、ガラス清澄剤、電子材料用原料		
扱状	製造	告•輸入量		1000~1 万 t/ ^左	手(経産省調査(平成 19 年度))		
況	その	他					
		急性毒性(経	口)	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。		
		皮膚腐食性/	刺激性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。		
有害性	健康	眼に対する 損傷性/刺激		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。		
性	/AK	生殖細胞変異	具原性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。		
(GHS		発がん性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。		
		生殖毒性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。		
分類)	環	水生環境有害 (急性毒性)	手性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。		
	境	水生環境有害 (慢性毒性)	手性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。		
選定	官条	法規制等		要監視項目			
件の	該	事故の報告	例1				
当步	犬況	事例	例2				
作業	美委員	会における					
専門	専門家の意見						
その)他			_			

備考	
V113 3	

物質番号	物質名	CAS No.
15	ニッケル及びその化合物	_

		 項目			データ等	
	化学式					
	分子量(式量)					
性	常温	こでの状態				
火等	融点					
等	沸点					
	水溶	\$解度				
	その)他				
取	主な	用途				
扱状	製造	生•輸入量				
淣	その)他				
		急性毒性(経	口)	_	_	
		皮膚腐食性/	刺激性	_	_	
有	/7 :11-	眼に対する		_	_	
害	健康	損傷性/刺激				
有害性(GHS	/2,0	生殖細胞変異原性		_	-	
GH		発がん性		_	-	
		生殖毒性		_	-	
分類		水生環境有害	§性	_	_	
	環	(急性毒性)				
	境	水生環境有害	§性	_	_	
		(慢性毒性)				
選気	官条	法規制等		要監視項目		
件0			/rst a	水迫水質基準	(水質管理目標設定項目)	
当北		事故の報告	例1			
		事例	例2			
	作業委員会における					
守门	専門家の意見			毒物及び劇物取締法(毒物)		
その	その他					
	C 12 E			GH5分類对家	物質リスト(環境リスク「中」)	

備考		
備安		

物質番号	物質名	CAS No.
15 参考資料	ニッケル(物質群「ニッケル及びその化合物」の個別物質の例)	7440-02-0

		項目			データ等		
	化学式			Ni			
	分子量(式量)			58.71			
性	常温での状態			銀白色の固体			
性状等	融点	Ī.		1453℃			
等	沸点	Ī.		2732℃(計算値			
	水泻	解度		422g/L(25℃).	、推定値		
	その)他		不溶			
取	主な	用途		特殊鋼•鋳鍛錚	間品・合金ロール原料,メッキ		
扱状	製造	É·輸入量		8万 t/年(化等	学商品(2007 年の生産量 30604t、輸入量 49816t))		
況	その)他					
		急性毒性(経	口)	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。		
		皮膚腐食性/	刺激性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。		
有害性(GHS	健康	眼に対する 損傷性/刺激		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。		
性	涿	生殖細胞変異原性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。		
(GE		発がん性		区分2	発がんのおそれの疑い		
		生殖毒性		区分1	生殖能または胎児への悪影響のおそれ		
分類)	環	水生環境有害性 (急性毒性) 水生環境有害性 (慢性毒性)		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。		
	境			区分4	長期的影響により水生生物に有害のおそれ		
	主条 法規制等		要監視項目 水道水質基準	(水質管理目標設定項目)			
件 Ø. 当 划		事故の報告	例1				
=1/	₹ <i>O</i> L	事例	例2				
作業	業委員会における						
専門	明家の)意見					
その)他			_			

	備考		
--	----	--	--

物質番号	物質名	CAS No.		
15	硫酸ニッケル(Ⅱ)	7786-81-4		
参考資料	(物質群「ニッケル及びその化合物」の個別物質の例)			

項目					データ等
	化学	全式		NiSO ₄ •7H ₂ O	
	分子量(式量)		280.89		
性	常温での状態		緑色の結晶または結晶性粉末		
 	融点		840 °C		
	沸点		_		
	水溶解度		293g/L 水(0℃)	
	その他		水に溶けやすく、エチルアルコールには溶けない。		
取	主な用途		ニッケルメッキ、	ニッケル触媒一般、媒染剤、亜鉛および真ちゅうの黒色着色	
扱			剤、他		
状況	製造・輸入量		1 万~10 万 t/年(経産省調査(平成 19 年度))		
<i>V</i> u	その他				
		急性毒性(経	口)	区分4	飲み込むと有害
	健康	皮膚腐食性/	刺激性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
有害性(GHS		眼に対する 損傷性/刺激		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
性		生殖細胞変異	具原性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
(GH		発がん性		区分1	発がんのおそれ
		生殖毒性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
分類)	環境	水生環境有割 (急性毒性)	手性	区分1	水生生物に非常に強い毒性
		水生環境有害 (慢性毒性)	亭性	区分1	長期的影響により水生生物に非常に強い毒性
選定	定条 法規制等		要監視項目		
件の	該	事故の報告	例1		
当場	状況 事例 例2				
	業委員会における				
専門	門家の意見				
その	その他			GHS分類対象	物質リスト(環境リスク「中」)

備考	
----	--

物質番号	物質名	CAS No.
15	塩化ニッケル(II)	7710 54 0
参考資料	(物質群「ニッケル及びその化合物」の個別物質の例)	7718-54-9

		項目			データ等	
	化学式			NiCl ₂ •6H ₂ O		
	分子量(式量)			225.62		
性	常温での状態			緑色柱状晶、単	兰 斜晶	
状等	融点	Ţ		_		
等	沸点	Ĭ.		973℃		
	水溶	孫解度		642g/L 水 (20℃)		
	その	他		空気中で加熱で	すると酸化ニッケルとなる。	
取	主な	:用途		電気メッキ、試験		
扱状	製造	Ē·輸入量		1000~1 万 t/st	F(経産省調査(平成 19 年度))	
況	その	他				
		急性毒性(経口)		区分4	飲み込むと有害	
	健康	皮膚腐食性/刺激性		区分2	皮膚刺激	
有害性(GHS		眼に対する重篤な 損傷性/刺激性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
性		生殖細胞変異	具原性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
(GE		発がん性		区分1	発がんのおそれ	
		生殖毒性		区分1	生殖能または胎児への悪影響のおそれ	
分類)	環境	水生環境有害 (急性毒性)	手性	区分1	水生生物に非常に強い毒性	
		水生環境有害性 (慢性毒性)		区分1	長期的影響により水生生物に非常に強い毒性	
選定	定条 法規制等			要監視項目		
件の	D該 事故の報告 例1					
当步	犬況 事例 例2					
作業	業委員会における					
専門	専門家の意見					
その)他			GHS分類対象	物質リスト(環境リスク「中」)	

備考	
V113 3	

物質番号	物質名	CAS No.
16	フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	117-81-7

		項目			データ等	
	化学式			$C_{24}H_{38}O_4$		
	分子量(式量)			390.57		
性	常温での状態		無色の粘調剤	夜体		
状	融点		-55℃			
等	沸点	Ī.		384℃		
	水溶	字解度		0.27 mg/L(25℃)、実測値		
	その	他		油に溶解する		
取	主た	用途		塩化ビニル、コ	ニトロセルロース、メタクリル酸、塩化ゴムに良好な相溶性があ	
扱				る。		
状況		步•輸入量		10 万~100 万	t/年(経産省調査(平成 19 年度))	
<i>D</i> u	その	·				
		急性毒性(経口)		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
		皮膚腐食性/刺激性		区分3	軽度の皮膚刺激	
有害性	健康	眼に対する重篤な 損傷性/刺激性		区分2	強い眼刺激	
性	承	生殖細胞変異原性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
(GHS		発がん性		区分2	発がんのおそれの疑い	
		生殖毒性		区分1	生殖能または胎児への悪影響のおそれ	
分類)	環	水生環境有害 (急性毒性)	手性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
	境	水生環境有害性 (慢性毒性)		区分4	長期的影響により水生生物に有害のおそれ	
選定	→ 夕 → → +日 +日 / か			要監視項目		
選り	-	法規制等		水道水質基準(水質管理目標設定項目)		
当場		事故の報告	例1			
=1/	(1)L	事例	例2			
	美委員会における					
専門	門家の意見					
その)他			要調査項目		
	- 144			水道水質基準	(要検討項目)	

物質番号	物質名	CAS No.
17	フェニトロチオン(MEP)	122-14-5

		項目			データ等	
	化学式			C ₉ H ₁₂ NO ₅ PS		
	分子量(式量)			277.24		
性	常温での状態			茶色ないし黄色	色の液体	
状等	融点			3.4℃		
等	沸点	Ē		164℃		
	水溶	序解度		38 mg/L(25℃)、実測値		
	その	<i>'</i>		有機溶剤を含む	む製剤は引火性がある	
取	主な	用途		農薬(殺虫剤)		
扱状	製造	步•輸入量		1700t/年(化氰	審法届出(平成 20 年度))	
況	その	<u>'-</u>				
		急性毒性(経口)		区分4	飲み込むと有害	
		皮膚腐食性/		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
有害性(GHS	健	眼に対する重篤な 損傷性/刺激性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
性	康	生殖細胞変異原性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
(GE		発がん性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
-		生殖毒性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
分類)	環	水生環境有害性 (急性毒性)		区分1	水生生物に非常に強い毒性	
	境	水生環境有害性 (慢性毒性)		区分1	長期的影響により水生生物に非常に強い毒性	
選定	_ , , .	法規制等		要監視項目 水道水質基準	(水質管理目標設定項目)	
当地		事故の報告	例1			
=11	\1∕L	事例	例2			
作弟	業委員会における					
専門	専門家の意見					
その)他			GHS分類対象	や物質リスト(環境リスク「中」)	

備考	要監視項目に該当する農薬
----	--------------

物質番号	物質名	CAS No.
18	イソプロチオラン	50512-35-1

		項目			データ等	
	化学式			$C_{12}H_{18}O_4S_2$		
	分子量(式量)			290.4		
性	常温での状態			無色の結晶		
状等	融点			54℃		
等	沸点	Ţ		168℃		
	水溶	孫解度		54 mg/L(25℃)、実測値		
	その)他		アセトン等には	は溶解する は溶解する	
取	主な	用途		農薬(除草剤)		
扱状	製造	き・輸入量		140t/年(農薬	至推計値(平成 20 年度))	
況	その	他				
		急性毒性(経口)		区分4	飲み込むと有害	
		皮膚腐食性/	刺激性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
有害性(GHS	健	眼に対する重篤な 損傷性/刺激性		区分2	強い眼刺激	
性	康	生殖細胞変異	具原性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
(GF		発がん性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
		生殖毒性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
分類)	環境	水生環境有害性 (急性毒性)		区分2	水生生物に毒性	
		水生環境有害性 (慢性毒性)		区分2	長期的影響により水生生物に毒性	
選定	,,	法規制等		要監視項目 水道水質基準	(水質管理目標設定項目)	
当地		事故の報告	例1			
=1/	√ <i>O</i> L	事例	例2			
作弟	業委員会における					
専門	専門家の意見					
その)他			_		

備考	要監視項目に該当する農薬
----	--------------

华	物質番号	物質名	CAS No.
	19	クロロタロニル (TPN)	1897-45-6

		項目			データ等	
	化学	经式		$C_8C_{14}N_2$		
	分子量(式量)			265.91		
性	常温での状態			白色の粉末		
状等	融点	Ę		250℃		
等	沸点	Ī.		350℃		
	水溶	解度		0.81 mg/L(25°	C)、実測値	
	その)他				
取	主な	用途		農薬(殺菌剤)		
扱状	製造	₺∙輸入量		100t/年 未満	(化審法届出(平成 20 年度))	
況	その)他				
		急性毒性(経	口)	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
		皮膚腐食性/	刺激性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
有害性	健	眼に対する重篤な 損傷性/刺激性		区分2	強い眼刺激	
性	康	生殖細胞変異	具原性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
(GHS		発がん性		区分2	発がんのおそれの疑い	
S S		生殖毒性		区分2	生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い	
分類	環境	水生環境有害性 (急性毒性)		区分1	水生生物に非常に強い毒性	
		水生環境有害性 (慢性毒性)		区分1	長期的影響により水生生物に非常に強い毒性	
選定件の	_ , ,		要監視項目 水道水質基準	(水質管理目標設定項目)		
当場		事故の報告	例1			
=1/	へ <i>ひ</i> L	事例	例2			
作業	作業委員会における					
専門	専門家の意見					
その)他			_		

備考	要監視項目に該当する農薬
----	--------------

物質番号	物質名	CAS No.
20	プロピザミド	23950-58-5

		項目			データ等	
	化学	之式		C ₁₂ H ₁₁ C ₁₂ NO		
	分子量(式量)			256.13		
性	常温での状態			白色結晶		
状等	融点			155℃		
等	沸点	Ĭ.		分解		
	水溶	F解度		15 mg/L(25℃))、実測値	
	その	他				
取		用途		農薬(除草剤)		
扱状	製造	₺•輸入量		27t/年(農薬丼	É計値(平成 20 年度))	
況	その					
		急性毒性(経口)		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
		皮膚腐食性/		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
有害性(GHS	健康	眼に対する		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
性		生殖細胞変異	具原性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
(GE		発がん性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
-		生殖毒性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
分類)	環	水生環境有害 (急性毒性)	手性	区分2	水生生物に毒性	
	境	水生環境有害性 (慢性毒性)		区分2	長期的影響により水生生物に毒性	
選定	,,	法規制等		要監視項目 水道水質基準	(水質管理目標設定項目)	
件 Ø		事故の報告	例1			
自初	八亿	事例	例2			
作業	作業委員会における					
専門	月家の	意見				
その)他			_		

備考	要監視項目に該当する農薬
----	--------------

物質番号	物質名	CAS No.
21	ジクロルボス(DDVP)	62-73-7

		項目			データ等	
	化学	全式		C ₄ H ₇ Cl ₂ O ₄ P		
	分子量(式量)			220.98		
性	常温での状態		無色の結晶			
状等	融点			-60℃		
等	沸点	Ī.		234.1℃		
	水浴	溶解度		8g/L(20℃)、≨	実測値	
	その	他		アルカリ性の水	、溶液で加水分解	
取	主な	用途		農薬(殺虫剤)		
扱状	製造	5•輸入量		210t/年(化審	法届出(平成 20 年度))	
況	その	· —			-	
		急性毒性(経		区分3	飲み込むと有毒	
		皮膚腐食性/		区分3	軽度の皮膚刺激	
有害性	健康	眼に対する重篤な 損傷性/刺激性		区分2	強い眼刺激	
性	/AK	生殖細胞変異原性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
(GHS		発がん性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
		生殖毒性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
分類	環	水生環境有害 (急性毒性)	手性	区分1	水生生物に非常に強い毒性	
	境	水生環境有害 (慢性毒性)	手性	区分1	長期的影響により水生生物に非常に強い毒性	
選兌		法規制等		要監視項目 水道水質基準	(水質管理目標設定項目)	
件の		事故の報告	例1			
=1	八亿	事例	例2			
	業委員会における					
專門	月家の	意見				
その)他			毒物及び劇物		
	その他			GHS分類対象物質リスト(環境リスク「中」)		

備考	要監視項目に該当する農薬

物質番号	物質名	CAS No.
22	フェノブカルブ (BPMC)	3766-81-2

		項目			データ等	
	化学	红		$C_{12}H_{17}NO_2$		
	分子量(式量)			207.27		
性	常温での状態			無色の結晶		
状等	融点	Ī.		31.5℃		
等	沸点	Ī		112.5℃		
	水溶	F解度		420 mg/L(20°C	こ)、実測値	
	その	他				
取	主な	用途		農薬(殺虫剤)		
扱状	製造	₺•輸入量		100t/年 未満	(化審法届出(平成 20 年度))	
況	その	他				
		急性毒性(経口)		区分4	飲み込むと有害	
		皮膚腐食性/		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
有害性(GHS	健康	眼に対する 損傷性/刺激		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
性		生殖細胞変異	具原性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
(GE		発がん性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
-		生殖毒性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
分類)	環	水生環境有害 (急性毒性)	手性	区分1	水生生物に非常に強い毒性	
	境	水生環境有害性 (慢性毒性)		区分1	長期的影響により水生生物に非常に強い毒性	
選兌	,,	法規制等		要監視項目 水道水質基準	(水質管理目標設定項目)	
件の 当場		事故の報告	例1			
31	人7九	事例	例2			
作業	作業委員会における					
朝	専門家の意見					
その)他			毒物及び劇物	取締法(劇物)	

備考	要監視項目に該当する農薬
----	--------------

物質番号	物質名	CAS No.
23	イプロベンホス(IBP)	26087-47-8

		項目			データ等	
	化学式			$C_{13}H_{21}O_3PS$		
	分子量(式量)			288.35		
性	常温での状態			黄淡色の液体		
状	融点	Ţ		< 25°C		
等	沸点	Ţ		126℃		
	水溶	孫解度		400 mg/L(20℃	C)、実測値	
	その)他				
取	主な	:用途		農薬(殺菌剤)		
扱状	製造	Ē·輸入量		68t/年(農薬扌	能計値(平成 20 年度))	
況	その	他				
		急性毒性(経		区分4	飲み込むと有害	
		皮膚腐食性/刺激性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
有害性(GHS	健康	眼に対する重篤な 損傷性/刺激性		区分2	強い眼刺激	
性	尿	生殖細胞変異原性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
(GE		発がん性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
-		生殖毒性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
分類)	環	水生環境有害性 (急性毒性)		区分1	水生生物に非常に強い毒性	
	境	水生環境有害性 (慢性毒性)		区分1	長期的影響により水生生物に非常に強い毒性	
選定	,,.	法規制等		要監視項目 水道水質基準	(水質管理目標設定項目)	
件の		事故の報告	例1			
31	犬況	事例	例2			
作業	業委員会における					
專門	専門家の意見					
その	その他			_		

備考	要監視項目に該当する農薬
----	--------------

ţ	物質番号	物質名	CAS No.
	24	クロルニトロフェン(CNP)	1836-77-7

項目					データ等
	化学式			C ₁₂ H ₆ Cl ₃ NO ₃	
	分子量(式量)			318.55	
性	常温での状態			白色の固体	
状等	融点			105.5 ℃	
等	沸点	ţ		_	
	水溶	解度		0.764 mg/L(22	2℃)、実測値
	その	他			
取		:用途		除草剤(販売券	性農薬)
扱状	製造	ē·輸入量			
況	その	<u>'-</u>			
		急性毒性(経		_	-
		皮膚腐食性/刺激性		_	-
有	健	眼に対する重篤な		_	_
害	康	損傷性/刺激性			
有害性(GHS		生殖細胞変異	以原性	_	_
SHE		発がん性		_	_
		生殖毒性		_	_
分類		水生環境有害性		_	_
	環境	(急性毒性)	→ [el		
	児	水生環境有害性		_	_
		(慢性毒性)		西欧坦西日	
選定	2条	法規制等		要監視項目 水道水質基準(水質管理目標設定項目)	
件の	該	事故の報告	例1	小坦小貝盔中	(小貝目)
当步	代況	事例の報言	例2		
作業	生委員	会における	17114		
		意見			
その		IEI/U		_	

備考	要監視項目に該当する農薬
----	--------------

物質番号	物質名	CAS No.
25	エピクロロヒドリン	106-89-8

		項目			データ等	
	化学	兰式		C ₃ H ₅ ClO		
	分子量(式量)			92.53		
性	常温での状態		クロロホルムに似た刺激臭がある無色の液体			
状	融点			-57.2℃		
等	沸点	Ţ		116.11℃		
	水溶	孫解度		65.9g/L(25°C))、実測値	
	その	他				
取	主ナ	用途		エポキシ樹脂、	. 合成グリセリン、グリシジルメタクリレート、界面活性剤、イオン	
扱	土/3	·/TI //E		交換樹脂などの	の原料、他	
状況	製造	Ē·輸入量		10 万~100 万	t/年(経産省調査(平成 19 年度))	
174	その	他				
		急性毒性(経	口)	区分3	飲み込むと有毒	
		皮膚腐食性/	刺激性	区分1	重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷	
有害性(GHS	健康	眼に対する重篤な 損傷性/刺激性		区分1	重篤な眼の損傷	
性	涿	生殖細胞変異原性		区分2	遺伝性疾患のおそれの疑い	
(GE		発がん性		区分1	発がんのおそれ	
		生殖毒性		区分2	生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い	
分類)	環	水生環境有害性 (急性毒性) 水生環境有害性 (慢性毒性)		区分3	水生生物に有害	
	境			区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
選定	至条	法規制等		要監視項目		
件の	該	事故の報告	例1			
当步		事例	例2			
作業	美委員会における					
専門	門家の意見					
				毒物及び劇物		
その	その他				を物質リスト(環境リスク「高」)	
				水道水質基準	(要検討項目)	

物質番号	物質名	CAS No.
26	キシレン	1330-20-7

項目					データ等	
	化学	全式		C_8H_{10}		
	分子量(式量)		106.17			
	/≟ >F	3 本の山台		3種の異性体は	およびエチルベンゼンの混合物であって混合キシレンと呼ば	
性状	常温での状態		れる無色の液体。			
等	融点	Ī.		−54°C		
	沸点			138.5℃		
	水溶解度			106 mg/L(25℃)、実測値		
	その)他		水に不溶、アルコールおよびエーテルには易溶		
取	主力	用途			て)染料、有機顔料、功労、可塑剤、他、(溶剤として)塗料、	
扱					はど一般溶剤、石油精製溶剤、他	
状況		Ŀ•輸入量 		100 万~1000	万 t/年(経産省調査(平成 19 年度))	
	その	,				
		急性毒性(経		区分5	飲み込むと有害のおそれ	
		皮膚腐食性/		区分2	皮膚刺激	
有害性(GHS	健康	眼に対する重篤な 損傷性/刺激性		区分2	強い眼刺激	
性	/AK	生殖細胞変異原性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
(GH		発がん性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
		生殖毒性		区分1	生殖能または胎児への悪影響のおそれ	
分類)	環	水生環境有害性 (急性毒性)		区分2	水生生物に毒性	
	境	水生環境有害性 (慢性毒性)		区分2	長期的影響により水生生物に毒性	
	l			要監視項目	·	
		法規制等		事故事例が確認	認された物質(水質事故)	
				工場内のパイプ	プラインに穴が開き、キシレン(原体)80 リットルが漏洩した。(う	
選兌			例1	ち70リットルは回収された。)当該パイプラインが、管理帳簿上は使用してい		
件の		事故の報告	Dit	ないことになっていたため、腐食が進行していたのもかかわらず補修が行わ		
当北	犬況	事例		れず破損してしまったため。被害報告はない。		
		3 1/3	fred a		油水分離槽にオルトキシレンを受け入れていたところ、自動抜水バルブが手	
			例2	動で開になっていたため、自動抜水バルブからオルトキシレン約4㎡が漏洩		
<i>11</i> — →	と子 旦 人 フェレン・ユフ			した。被害は特	f/L/よし。	
	巻委員会における 門家の意見					
守「	13人0	/ 尼 九		毒物及び劇物	的统注/劇/m/)	
20	その他			世初及い劇物: 悪臭防止法(特		
. ر ۷	/ [반			水道水質基準		
<u> </u>				ルセル貝坐牛	(女)(大)(1)(大) (大)(大)(1)(大)(大)(1)(大)(大)(1)(大)(1)(大)(1)(大)(1)(1)(大)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)	

1	/	
	頒考	
П	VIII J	

物質番号	物質名	CAS No.
27	モリブデン及びその化合物	_

		項目			データ等
	化学式				
	分子量(式量)				
性	常温	且での状態			
	融点	Ē			
等	沸点	Ī.			
	水浴	· 解度			
	その)他			
取	主な	用途			
扱状	製造	生•輸入量			
況	その)他			
		急性毒性(経口)		_	_
	. 健康	皮膚腐食性/	刺激性	_	_
有		眼に対する	重篤な		_
害		損傷性/刺激	性		
有害性(GHS	/2,0	生殖細胞変異	具原性	_	-
GH		発がん性		_	-
		生殖毒性		_	-
分類)		水生環境有害	手性	_	_
	環境	(急性毒性)			
	境	水生環境有害	手性	_	_
		(慢性毒性)			
選兌		法規制等		要監視項目	
件の		事故の報告	例1		
当北	-	事例	例2		
	業委員会における 1011				
- 専門	9家 0	意見			业。原则 。)/g四 [中] 。 上 [一十二]
その)他			GHS分類対象 水道水質基準	物質リスト(環境リスク「高」) (要検討項目)

備考	

物質番号	物質名	CAS No.
27 参考資料	モリブデン(物質群「モリブデン及びその化合物」の個別物質の例)	7439-98-7

		項目			データ等
	化学式		Мо		
	分子量(式量)		95.94		
性	常温	こでの状態		銀白色の固体	
	融点	₹		2622℃	
等	沸点	Ţ		4639℃	
	水泻	幹解度		76.6g/L(25℃)	、推定値
	その)他			
取	主な	用途		特殊鋼(高速度	「鋼、耐熱鋼、その他)、真空管、耐熱材料、抵抗体、触媒、他
扱状	製造	b·輸入量		2000t/年(化学	牟商品(2007 年;金属モリブデン 1172t、輸入 784t(粉)))
況	その	他			
		急性毒性(経	口)	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		皮膚腐食性/	刺激性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
有害性(GHS	健康	眼に対する 損傷性/刺激		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
性	/AK	生殖細胞変異	具原性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
(GH		発がん性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		生殖毒性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
分類)	環	水生環境有害 (急性毒性)	手性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
	境	水生環境有害 (慢性毒性)	手性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
選兌	定条 法規制等			要監視項目	
件の	該	事故の報告	例1		
当北	犬況	事例	例2		
作業	業委員会における				
専門	明家の	意見			
その	の他			水道水質基準	(要検討項目)

備考	
----	--

牧	加質番号	物質名	CAS No.
	28	1,2-ジクロロプロパン	78-87-5

項目					データ等	
	化学式			$C_3H_6Cl_2$		
	分子量(式量)		112.99			
性	常温	上での状態		無色の液体		
状等	融点	Ĩ.		-100°C		
等	沸点	Ī.		95.5℃		
	水溶	孫解度		2.8g/L(25℃)、	実測値	
	その	他				
取	主な	:用途		樹脂の溶剤, 有	機合成薬品原料	
扱状	製造	Ē·輸入量		2700t/年(化氰	F法届出(平成 20 年度))	
況	その	他				
		急性毒性(経口)		区分4	飲み込むと有害	
	健康	皮膚腐食性/刺激性		区分2	皮膚刺激	
有害性		眼に対する重篤な 損傷性/刺激性		区分2	強い眼刺激	
性	涿	生殖細胞変異	具原性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
(GHS		発がん性		区分2	発がんのおそれの疑い	
		生殖毒性		区分2	生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い	
分類	環	水生環境有害 (急性毒性)	手性	区分3	水生生物に有害	
	境	水生環境有害 (慢性毒性)	手性	区分3	長期的影響により水生生物に有害	
選定	定条 法規制等			要監視項目		
件の		事故の報告	例1			
当划		事例	例2			
作業	冬季貝	会における				
専門	目家の	意見				
その)他			GHS分類対象	物質リスト(環境リスク「中」)	

備考		
Vm J		

物質番号	物質名	CAS No.
29	p-ジクロロベンゼン	106-46-7

項目					データ等	
	化学式			$C_6H_4Cl_2$		
	分子量(式量)		147			
性	常温	1での状態		常温で昇華する白色の固体		
状等	融点	Ĭ.		52.09℃		
等	沸点	Ī		174℃		
	水溶	F解度		81.3 mg/L(25°	C)、実測値	
	その	他				
取	主な	:用途		染料中間物、希	2. 日本	
扱状	製造	Ē·輸入量		3.9 万 t/年(化	上審法届出(平成 20 年度))	
況	その	他				
		急性毒性(経口)		区分5	飲み込むと有害のおそれ	
	健康	皮膚腐食性/刺激性		区分3	軽度の皮膚刺激	
有害性		眼に対する重篤な 損傷性/刺激性		区分2	強い眼刺激	
性	/AK	生殖細胞変異	具原性	区分2	遺伝性疾患のおそれの疑い	
(GHS		発がん性		区分2	発がんのおそれの疑い	
		生殖毒性		区分1	生殖能または胎児への悪影響のおそれ	
分類	環	水生環境有害 (急性毒性)	手性	区分1	水生生物に非常に強い毒性	
	境	水生環境有害 (慢性毒性)	手性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
選兌	三 条	法規制等		要監視項目		
件の	該	事故の報告	例1			
当划	代況	事例	例2			
作業	業委員会における					
専門	目家の	意見				
その	他			_		

備考		
Vm J		

物質番号	物質名	CAS No.
30	ホルムアルデヒド	50-00-0

項目					データ等	
	化学	送式		CH ₂ O		
	分子量(式量)			30.03		
性	常温での状態			水溶液は無色透明で、窒息性の刺激臭がある		
状	融点	į		_92℃		
等	沸点	Ţ		−19.5 °C		
	水浴	F解度		400g/L(20℃).	、実測値	
	その	·····································		水とエーテルに	- 可溶	
取扱	主な	用途		石炭酸系・尿素 活性剤など	※系・メラミン系合成樹脂原料、ポリアセタール樹脂原料、界面	
状	製造	₺•輸入量			t/年(経産省調査(平成 19 年度))	
況	その					
		急性毒性(経	口)	区分4	飲み込むと有害	
		皮膚腐食性/刺激性		区分2	皮膚刺激	
有害性	健康	眼に対する 損傷性/刺激		区分2	強い眼刺激	
性	承	生殖細胞変異原性		区分2	遺伝性疾患のおそれの疑い	
(GHS		発がん性		区分1	発がんのおそれ	
		生殖毒性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
分類)	環	水生環境有害性 (急性毒性)		区分2	水生生物に毒性	
	環境	水生環境有害 (慢性毒性)	手性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
		法規制等		要監視項目 水道水質基準	(水質基準項目)事故事例が確認された物質(水質事故)	
選兌	学			毒物劇物製造	施設で、ホルマリンをタンクから別の容器へ移したところ、ホル	
件の	該	事故の報告	例1	マリン溶液20~	-30Lがオーバーフローして防液堤内に漏洩した。計量装置	
当步	犬況	事例の報告		の作動不良に。	作動不良による。被害報告はない	
		争例	例2		ベルムアルデヒド水溶液の水槽にヒビが入り、ホルムアルデヒド 飛散。健康被害なし。施設は2日間閉鎖。	
作業	業委員会における					
專門	月家の	意見				
その	その他			毒物及び劇物 GHS分類対象 要調査項目	取締法(劇物) 物質リスト(環境リスク「中」)	

fills also			
備考			
NHI 17			

物質番号	物質名	CAS No.
31	塩素酸及びその塩類	_

		項目			データ等	
	化学	兰 式				
	分子量(式量)					
性	常温	こでの状態				
	融点	Ī.				
等	沸点	Ţ				
	水浴	 F解度				
	その)他				
取	主な	:用途				
扱状	製造	₺•輸入量				
況	その)他				
		急性毒性(経口)		-	-	
		皮膚腐食性/	刺激性	_	_	
右	/ 	眼に対する重篤な			_	
害	健康	損傷性/刺激性		_		
有害性(GHS	140	生殖細胞変異原性		_	-	
GH		発がん性		_	_	
		生殖毒性		_	_	
分類)		水生環境有害	手性	_	_	
	環	(急性毒性)				
	境	水生環境有害	手性	_	_	
		(慢性毒性)				
選兌	字条	法規制等		水道水質基準(水質基準項目)		
件の	_ , ,		I	事故事例が確認	認された物質(水質事故)	
当北		事故の報告	例1			
		事例	例2			
		会における		塩素酸ナトリウ、	ム等は残留塩素の原因物質であるため留意する必要がある。	
_		意見				
40.	その他			毒物及び劇物	取締法(劇物)	

備考 塩素酸ナトリウムが残留塩素の原因物質として指摘された。

物質番号	物質名	CAS No.
31 参考資料	塩素酸ナトリウム(物質群「塩素酸及びその塩類」の個別物質の例)	7775-09-9

		項目			データ等	
	化学	兰 式		NaClO ₃		
	分子量(式量)			106.44		
	常温	こでの状態		無色柱状結晶		
性	融点	Ī		248°C		
状等	沸点	Ī		_		
,,	水浴	· 解度		100g/L(25 ℃))、実測値	
	その	/ Uh		熱すれば300℃	こで分解し始め酸素を発生する。可燃性物質とともに粉砕する	
	~V)	71世		ことは危険		
取	主な	用途		雑草の除草剤、	分析用試薬、酸化剤、パルプ漂白用二酸化塩素の原料、他	
扱状	製造	₺∙輸入量		10 万~100 万	t/年(経産省調査(平成 19 年度))	
況	その)他				
		急性毒性(経口)		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
		皮膚腐食性/刺激性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
有害性(GHS	健康	眼に対する重篤な 損傷性/刺激性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
性	尿	生殖細胞変異原性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
(GF		発がん性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
		生殖毒性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
分類	環	水生環境有害 (急性毒性)	手性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
	境	水生環境有害性 (慢性毒性)		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
	法規制等			水道水質基準	(水質基準項目)	
選兌	官条			塩素酸ナトリウム	ムをドラム缶で希釈中、水道の蛇口からホースが外れ、ホース	
件の	該	事故の報告	例1	から逆流し排水溝から河川に流れた。ホースの接続不良による。水道の取水		
当为	犬況	事例		を一時停止した	-	
	例2		-			
		会における				
	専門家の意見					
その)他			毒物及び劇物	取締法(劇物)	

/±= ±z.		
111111111111111111111111111111111111111		
備考		

物質番号	物質名	CAS No.
31 参考資料	塩素酸カリウム(物質群「塩素酸及びその塩類」の個別物質の例)	3811-04-9

		項目			データ等
	化学	全式		KClO ₃	
	分子量(式量)		122.55		
性	常温	こでの状態		無色の菱形状紀	告晶(単斜系結晶)または粒、粉
性状等	融点	Ī.		368℃	
等	沸点	<u> </u>		_	
	水浴	· 解度		70g/L(25℃)、	
	その)他		強力な酸化剤で	で可燃性物質と爆発性混合物を形成する
取扱	主な	用途		爆薬、マッチ、炉 殺虫剤、他	亜火、分析用試薬、印刷インキ、染料、酸素発生用、酸化剤、
状	製造	₺•輸入量		777777	
況	その				
		急性毒性(経	口)	区分4	飲み込むと有害
		皮膚腐食性/		区分3	軽度の皮膚刺激
有害性	健康	眼に対する重篤な 損傷性/刺激性		区分2	強い眼刺激
性	康	生殖細胞変異		分類できない	 十分な情報が得られず、分類ができなかった。
(GHS		発がん性	7//1/11	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		生殖毒性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
分類	一一	水生環境有害 (急性毒性)	手性	区分3	水生生物に有害
	環境	水生環境有害性 (慢性毒性)		区分3	長期的影響により水生生物に有害
選兌				_	
件の					
	大況 事例 例2		例2		
作業	業委員会における				
專門	門家の意見				
その	その他			毒物及び劇物	取締法(劇物)

備考	
----	--

物質番号	物質名	CAS No.
32	臭素酸及びその塩類	_

		項目			データ等
	化学	式			
	分子量(式量)				
性	常温	上での状態			
性状等	融点	Ţ			
等	沸点	į			
	水溶	· 解度			
	その)他			
取	主な	用途			
取扱状	製造	ē·輸入量			
況	その	他			
		急性毒性(経口)		_	_
		皮膚腐食性/刺激性		_	_
有	<i>h</i> =+-	眼に対する重篤な		_	_
害	健康	損傷性/刺激性			
有害性(GHS	/230	生殖細胞変異原性		_	-
GH		発がん性		_	-
		生殖毒性		_	_
分類)		水生環境有害性		_	_
	環境	(急性毒性)			
	境	水生環境有害	子性	_	_
		(慢性毒性)		1 376 1 55 44 300	
	三条 法規制等		水道水質基準	(水質基準項目)	
件の		事故の報告	例1		
当場		事例	例2		
	作業委員会における				
	専門家の意見				
その)他			_	

備考 前駆物質として「臭化物」の指定の必要性が指摘された。

物質番号	物質名	CAS No.
32 参考資料	臭素酸ナトリウム(物質群「臭素酸及びその塩類」の個別物質の例)	7789-38-0

		項目			データ等	
	化学	兰 式		NaBrO ₃		
	分子量(式量)			150.89		
性	常温	こでの状態		無色または白色結晶		
状等	融点	Ţ		381℃		
等	沸点	Ī.		_		
	水泻	解度		364g/L(20 ℃)	、実測値	
	その)他		水に易溶、アル	コールに不溶	
取	主な	用途		分析用試薬、毛	差髪のコールドウェーブ用薬品	
扱状	製造	步•輸入量		100~1000t/年	(経産省調査(平成 19 年度))	
況	その	· —			,	
		急性毒性(経	口)	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
		皮膚腐食性/刺激性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
有害性(GHS	健康	眼に対する重篤な 損傷性/刺激性		区分2	強い眼刺激	
性	尿	生殖細胞変異	具原性	区分2	遺伝性疾患のおそれの疑い	
(GH		発がん性		区分2	発がんのおそれの疑い	
		生殖毒性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
分類)	環	水生環境有害性 (急性毒性) 水生環境有害性 (慢性毒性)		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
	環境			分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
選定	定条 法規制等			水道水質基準	(水質基準項目)	
件の	該	事故の報告	例1			
当划	犬況	事例	例2			
作業	作業委員会における					
専門	月家の	意見				
その)他			_		

備考	
----	--

物質番号	物質名	CAS No.
32 参考資料	臭素酸カリウム(物質群「臭素酸及びその塩類」の個別物質の例)	7758-01-2

		項目			データ等		
	化学	全式		$KBrO_3$			
	分子量(式量)			167			
性	常温での状態			白色の結晶ないし結晶性粉末			
性状等	融点	Ī.		350℃			
等	沸点	Ŕ		_			
	水泻	溶解度		69g/L(20 ℃).	、実測値		
	その)他		水に溶け、アル	コールに不溶		
取	主な	用途		小麦粉改良剤			
扱状	製造	步•輸入量					
況	その	· <u> </u>					
		急性毒性(経	口)	区分4	飲み込むと有害		
		皮膚腐食性/刺激性		区分3	軽度の皮膚刺激		
有害性(GHS	健康	眼に対する重篤な 損傷性/刺激性		区分2	強い眼刺激		
性	承	生殖細胞変異原性		区分2	遺伝性疾患のおそれの疑い		
(GH		発がん性		区分2	発がんのおそれの疑い		
		生殖毒性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。		
分類)	環	水生環境有害性 (急性毒性) 水生環境有害性 (慢性毒性)		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。		
	環境			分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。		
選兌	产条	法規制等		_			
件の	該	事故の報告	例1				
当步	犬況	事例	例2				
作業	作業委員会における						
専門	明家の	意見					
その)他			_			

備考	
V113 3	

物質番号	物質名	CAS No.
33	アルミニウム及びその化合物	_

項目					データ等	
	化学	注式				
	分子量(式量)					
性	常温での状態					
	融点	į		***************************************		
等	沸点	į				
	水溶	下解度				
	その)他				
取	主な	:用途				
扱状	製造	ē·輸入量				
況	その	他				
		急性毒性(経	口)	_	_	
		皮膚腐食性/	刺激性	_	_	
有	/ /: -	眼に対する重篤な		_	_	
害	健康	損傷性/刺激性				
有害性(GHS	/2,0	生殖細胞変異原性		_	-	
GH		発がん性		_	-	
S 分		生殖毒性		-	-	
分類		水生環境有害性		_	_	
	環境	(急性毒性)		***************************************		
	境	水生環境有害性		_	_	
		(慢性毒性)				
		VI I H (I) I fala			(水質基準項目)	
×→→ . [法規制等			(水質管理目標設定項目)	
選定			1		認された物質(水質事故)	
件の		* *******	/Sta		ラインのアルカリ回収装置の埋設配管が腐食し、水酸化ナトリ	
当場	代況	事故の報告	例1		有したアルミン酸ソーダが7㎡漏洩した。公共用水域への流	
		事例	<i>I</i> tilo	出重はU.5mと	:推定される。被害報告はない。 	
// □ 兴	例2 例2 作業委員会における			_		
	作業安貝会における 専門家の意見					
4 1	サビスリー 思見			毒物及び劇物	取締決(憲物)	
その	仙				物質リスト(環境リスク「中」)	
ر ک	/ IE			要調査項目	700 貝フィリ(水グルフィン・T」)	
				女們且"只日		

備考		
----	--	--

物質番号	物質名	CAS No.
33	塩化アルミニウム	7446 70 0
参考資料	(物質群「アルミニウム及びその化合物」の個別物質の例)	7446-70-0

		項目		データ等			
	化学	兰 式	AlCl ₃				
	分子	·量(式量)	133.34	133.34			
性	常温	こでの状態	純粋なものに	純粋なものは無色、通常は黄色または灰白色の固体、六方晶系			
性状等	融点	₹	加圧下におり	加圧下における融点 190℃			
等	沸点	Ţ	_				
	水汽	幹解度	_				
	その)他	水と激しく反	応して多量の熱を発生する			
			(無水物)石	油精製用(クラッキング触媒)、有機合成(フリーデルクラフト反応			
取	主な	用途	触媒)、スチロ	レンモノマー用エチルベンゼン製造用触媒、農薬、医薬品、香			
扱状			料、その他				
況	製造	É· 輸入量	10 万~100 3	万 t/年(経産省調査(平成 19 年度))			
	その	,					
		急性毒性(経口)	区分4	飲み込むと有害			
		皮膚腐食性/刺激		重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷			
有害性(GHS	健康	眼に対する重角 損傷性/刺激性	第な 区分1	重篤な眼の損傷			
性	131	生殖細胞変異原	性 区分2	遺伝性疾患のおそれの疑い			
GH		発がん性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。			
_		生殖毒性	区分2	生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い			
分類)	環	水生環境有害性 (急性毒性)	区分1	水生生物に非常に強い毒性			
	境	水生環境有害性 (慢性毒性)	区分1	長期的影響により水生生物に非常に強い毒性			
`라. 스	⇒々	法規制等	水道水質基	準(水質基準項目)			
選5			水道水質基	水道水質基準(水質管理目標設定項目)			
当北		事故の報告 例	1				
=1	N D L	事例	2				
		全における					
專門	明家の	意見					
その)他			「象物質リスト(環境リスク「中」)			
_ ,	. 10		要調査項目	要調査項目			

備考	

物質番号	物質名	CAS No.
33	酸化アルミニウム	1944 99 1
参考資料	(物質群「アルミニウム及びその化合物」の個別物質の例)	1344-28-1

項目					データ等	
	化学式			Al_2O_3		
	分子	- 量(式量)		101.94		
性	常温	こでの状態		無色六方晶系の結晶		
状	融点	Ī.		2,050℃		
等	沸点	Ŕ		2,980℃		
	水溶	溶解度		水に不溶		
	その	他				
取		用途		アルミニウム電気	解用、触媒、触媒担体、耐火物、他	
扱状	製造	步•輸入量		100万~1000万	万 t/年(経産省調査(平成 19 年度))	
況	その	,				
		急性毒性(経口)		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
		皮膚腐食性/		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
有害性	健康	眼に対する 損傷性/刺激		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
性		生殖細胞変異	具原性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
(GHS		発がん性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
		生殖毒性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
分類)	環	水生環境有害性 (急性毒性) 水生環境有害性 (慢性毒性)		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
	境			分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
選兌	字条 法規制等		水道水質基準	(水質基準項目)		
件0		仏処刑寺		水道水質基準	(水質管理目標設定項目)	
当地		事故の報告	例1			
		事例	例2			
		会における				
		意見				
その)他			要調査項目		

	備考		
--	----	--	--

4	物質番号	物質名	CAS No.
	34	メチル-t-ブチルエーテル	1634-04-4

		項目			データ等	
	化学式		$C_5H_{12}O$			
	分子	'量(式量)		88.15		
性	常温	1での状態		無色の液体		
状等	融点	Ī.		−108.6°C		
等	沸点	Ē		55.2 ℃		
	水溶	序解度		51g/L(25℃)、	実測値	
	その	他				
取	主な	用途		ガソリンのオクタ	アン価向上剤	
扱状	製造	b·輸入量				
況	その)他				
		急性毒性(経	口)	区分5	飲み込むと有害のおそれ	
	健康環境	皮膚腐食性/		区分2	皮膚刺激	
有害性		眼に対する 損傷性/刺激		区分2	強い眼刺激	
性		生殖細胞変異	具原性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
(GHS		発がん性		区分2	発がんのおそれの疑い	
		生殖毒性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
分類		水生環境有害 (急性毒性)	手性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
		水生環境有害 (慢性毒性)	手性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
選定	官条	法規制等		水道水質基準(水質管理目標設定項目)		
件の	該	事故の報告	例1			
当步	犬況	事例	例2			
作業	美委員	会における				
専門	月家の	意見				
その)他			要調査項目		

備考		
Vm J		

物質番号	物質名	CAS No.
35	アクリルアミド	79-06-1

項目					データ等	
	化学式			C ₃ H ₅ NO		
	分子	分子量(式量)		71.08		
性	常温	常温での状態		無臭の白色結晶		
状	融点	Ē		84.5°C		
等	沸点	₹		192.6℃		
	水浴	· 解度		390g/L(25℃)、実測値		
	その)他		水、アルコール	v、アセトンに可溶、ベンゼン、ヘプタンに不溶	
取	→ ≠;	用途		凝集剤、土壌	改良剤、繊維の改質および樹脂加工、紙力増強剤、接着剤、	
扱	土/3	. 用壓		塗料、石油回り	以 剤	
状況	製造	b·輸入量		1万~10万 t/	年(経産省調査(平成 19 年度))	
174	その)他				
		急性毒性(経	口)	区分3	飲み込むと有毒	
		皮膚腐食性/		区分3	軽度の皮膚刺激	
有	/z :b ·	眼に対する		区分2	強い眼刺激	
有害性	健康	損傷性/刺激				
性(生殖細胞変異	具原性	区分1	遺伝性疾患のおそれ	
(GHS		発がん性		区分1	発がんのおそれ	
		生殖毒性		区分1	生殖能または胎児への悪影響のおそれ	
分類		水生環境有害性		区分3	水生生物に有害	
	環境	(急性毒性)				
	境	水生環境有害	手性	区分外	★ 十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
	(慢性毒性)		±4.±100x4	27 () .		
\33 Z	→ <i>A</i> 7	法規制等	1	事故事例が確認された物質(水質事故)		
選定		事状の却件	Ital a		タンクに保持されていたアクリルアミド 50%水溶液(約36kL)が	
件の		事故の報告 事例	例1		リルアミド 50%水溶液タンクの液面計バルブが老朽化により破し、地字型はなか、エリ歌地は、の湯油はなか、た	
当場	人7九	事 例	例2	損したため、個	出。被害報告はない。工場敷地外への漏洩はなかった。	
<i>化</i> 式	作業委員会における					
	作業安貝芸にわける 専門家の意見					
41	13/0	心思光		 毒物及び劇物取締法(劇物)		
					・	
その)他			要調査項目	NTM 東フィコ(2代2位フィソ・ 円]]/	
				安丽且項目 水道水質基準	(要給討項目)	
L				/ ル 但 小 貝 坐 午	(女/大門 大日	

file Lak	
1胴弓	

物質番号	物質名	CAS No.
36	アクリル酸	79-10-7

項目					データ等	
	化学式		$C_3H_4O_2$			
	分子	产量(式量)		72.06		
性	常温	且での状態		無色の酢酸に似た液体、冬は凝固する(凝固点 12℃)		
状	融点	₹		13.5℃		
等	沸点	Ī.		141.2℃		
	水溶	学解度		1000g/L、実測値		
	その)他		水に可溶		
				アクリル酸エス	テル、アクリロニトリル、ブタジエン、酢酸ビニルなどほかのモノ	
取	主な	用途		マーと共重合さ	らせたものは、不織布バインダー、フロッキー加工用バインダ	
扱状				一、繊維の改質	質剤などとして使用される	
況		生•輸入量		10 万~100 万	t/年(経産省調査(平成 19 年度))	
	その	. —			1	
		急性毒性(経		区分4	飲み込むと有害	
		皮膚腐食性/		区分1	重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷	
有害性	健康	眼に対する		区分1	重篤な眼の損傷	
性	1314	生殖細胞変異原性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
(GHS		発がん性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
		生殖毒性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
分類)	環	水生環境有害性 (急性毒性)		区分1	水生生物に非常に強い毒性	
	境	水生環境有害性 (慢性毒性)		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
	法規制等		事故事例が確	認された物質(水質事故)		
選兌	官条			工場内で貯蔵	タンクに保持されていたアクリルアミド50%水溶液(約36kL)	
件の)該	事故の報告	例1	が漏洩した。水	溶液タンクの液面計バルブが老朽化により破損したため、漏	
当北	犬況	記 事例		出。		
			例2			
	作業委員会における					
専門	り家の	意見			TT (de VI (Midd)	
				毒物及び劇物		
その)他				や物質リスト(環境リスク「中」)	
				水道水質基準(要検討項目)		

file Lak	
1胴弓	

物質番号	物質名	CAS No.
37	アクリロニトリル	107-13-1

項目					データ等	
	化学式		C ₃ H ₃ N			
	分子量(式量)		53.06			
性	常温での状態		無色の変質しやすい液体で甘い臭気があり有毒			
状	融点		-83.5℃			
等	沸点	Ī.		77.3℃		
	水浴	溶解度		74.5g/L(25°C))、実測値	
	その	他			溶、水と共沸混合物をつくる	
取	主が	用涂			は繊維(ボンネル, エクスラン, カネカロンなど)、合成ゴム	
扱		· · · · · ·		(NBR)、ABS 村	朝脂、AS 樹脂、合成糊料、繊維樹脂加工、合成樹脂、塗料	
状況		臣•輸入量		10 万~100 万	t/年(経産省調査(平成 19 年度))	
	その	· -			:	
		急性毒性(経		区分3	飲み込むと有毒	
		皮膚腐食性/		区分2	皮膚刺激	
有	健	眼に対する重篤な		区分2	強い眼刺激	
有害性	康	損傷性/刺激性			· 보드네 로마 이 기 1 - 이건)	
		生殖細胞変異原性		区分2	遺伝性疾患のおそれの疑い	
(GHS		発がん性		区分2	発がんのおそれの疑い 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い	
分類		生殖毒性	<i>-</i> .\4.	区分2	生態形式には胎児への悪影響のわてもの疑い	
類	環	水生環境有害性 (急性毒性)		区分2	水生生物に毒性	
	境	水生環境有害 (慢性毒性)	手性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
		法規制等		事故事例が確	: 認された物質(水質事故)	
		IZ/YCIIII 47			・ル及びアクリロニトリル(濃度不明)を反応機内に仕込み、窒	
選兌					素置換を行い触媒等を仕込み滴下反応させたところ、釜内の内容物が噴出	
件の		事故の報告	例1		展臭が外部に漏れた。 噴出した液体は、防液堤内から流出して	
当为	犬況	事例			置換が不十分であったと推定される。被害報告はない。	
			例2	_		
作業	作業委員会における					
専門	専門家の意見					
				毒物及び劇物	取締法(劇物)	
その	その他			GHS分類対象物質リスト(環境リスク「高」)		
				要調査項目		

file Lak	
1胴弓	

物	質番号	物質名	CAS No.
	38	塩化水素	7647-01-0

		項目			データ等	
	化学式		HCl			
	分子量(式量)		36.47			
性	常温	常温での状態		無色の気体		
状	融点		−114.22 °C			
等	沸点			-85.05°C (760m	nmHg)	
	水浴	序解度		670g/L(30℃)		
	その)他		アルコール、エ	ーテルに可溶	
				グルタミン酸ソー	ーダの製造、しょう油、染料・中間物、香料、医薬品、農薬の製	
				造、各種無機塩	証化物、その他化学薬品の製造、鉄板・鉄鋼などの除錆、ロウ	
TT-		. m \ \		付彫刻、ゼラチ	ンおよび革製造用、ブドウ糖、シロップの製造、でんぷんの糖	
取扱	土73	用途		化、染色なっ染	:用および漂白用繊維のマルセル化など、後処理用骨炭の再	
状				生、ケイソウ土、	ケイ砂などの鉄の除去、石灰石の分解による CO2 の発生、	
況				起寒剤、王水の	製造、蚕種孵化用、試薬、医薬品用	
	製造	₺∙輸入量		100 万~1000 7	万 t/年(経産省調査(平成 19 年度))	
	その)他				
		急性毒性(経	口)	区分3	飲み込むと有毒	
		皮膚腐食性/刺激性		区分1	重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷	
有害性	健康	眼に対する重篤な 損傷性/刺激性		区分1	重篤な眼の損傷	
性	康	生殖細胞変異原性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
(GHS		発がん性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
		生殖毒性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
分類	環	水生環境有害(急性毒性)	手性	区分1	水生生物に非常に強い毒性	
	境	水生環境有害性 (慢性毒性)		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
		法規制等		事故事例が確認された物質(水質事故)		
選定	官条		Itil 1	貯蔵タンクへの	注入時にタンク亀裂が発生し約4000Lが流出した。流出した	
件の	該	事故の報告	例1	河川の魚が多数死亡した。		
当場	犬況	事例	例2	パイプラインの	ドレインコックに機材が接触し、バルブを破損し塩化水素3	
			791172	5%溶液が100L漏洩した。作業員の周辺確認不足による。被害報告はない		
作業	作業委員会における					
専門	専門家の意見					
その	その他			毒物及び劇物		
ر	ت ا			GHS分類対象	物質リスト(環境リスク「高」)	

備考	

物質番号	物質名	CAS No.
39	塩化チオニル	7719-09-7

		 項目			データ等	
	化学	F 7 7 7		Cl ₂ OS	, , ,	
	分子量(式量)		118.97			
Ы.	常温での状態		無色あるいは橙黄色の透明な液体、刺激あり			
性状	融点		-104.5℃			
等	沸点			76 °C		
		·····································		16.6g/L(25 °C)	
	その				ア、IECC 10 解して、亜硫酸ガスと塩酸ガスになる	
	(0)	/ [E			く酸基のクロル化、カルボン酸のクロル化、2重結合の生成、	
取	主な	用途		酸無水物の生態		
扱状	制光	±•輸入量		100 11/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1	X, 'C () (3.7)	
況	その					
	(0)	急性毒性(経	п)	区分3	飲み込むと有毒	
		皮膚腐食性/		区分1	重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷	
		眼に対する重篤な				
有宝	健	損傷性/刺激性		区分1	重篤な眼の損傷	
有害性	康	生殖細胞変異原性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
(GHS		発がん性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
		生殖毒性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
分類		水生環境有害性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
想)	環	(急性毒性)				
	境	水生環境有害		t) ylert 3- 3		
		(慢性毒性)		分類できない十分な情報が得られず、分類ができなかった。	十分な情報か得られず、分類かでさなかった。 	
		法規制等		事故事例が確認	恐された物質(水質事故)	
\22 \L	<i>> ⁄</i> 2			塩化チオニル(95%)をタンクへ移送中、作業員が持ち場を離れ、スイッチを	
選定		ませる担告	ltol a	切るのが遅れた	切るのが遅れた為、過量の塩化チオニルが流出し、排水溝の水と反応し、塩	
件の	ノ談 犬況	事故の報告	例1	化水素ガス並び	ドに亜硫酸ガスが事業所外に漏洩した。隣接するホームセン	
1 = 1/	人(九	事例		ターの客2名か	「体調不良を訴え、病院に搬送された。	
			例2	_		
作業	作業委員会における					
専門	専門家の意見					
その)他			毒物及び劇物	取締法(劇物)	

備考	
----	--

物質番号	物質名	CAS No.
40	過酸化水素	7722-84-1

		項目			データ等
	化学式		H_2O_2		
	分子量(式量)		34.02		
性	常温での状態		純粋なものは粘性のある無色の液体で多量の場合は青色を呈す		
状	融点	Ţ		−0.43°C	
等	沸点	į		152℃	
	水溶	解度		1000g/L(25°C))、実測値
	その	他		水、エーテルに	「可溶、石油エーテル、ベンゼンに不溶
取	主な	:用途		漂白剤、工業月	目品、医薬品など
扱状	製造	ē·輸入量		10 万~100 万	t/年(経産省調査(平成 19 年度))
況	その	他			
		急性毒性(経		区分4	飲み込むと有害
		皮膚腐食性/		区分1	重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
有害性(GHS	健康	眼に対する重篤な 損傷性/刺激性		区分1	重篤な眼の損傷
性	涿	生殖細胞変異原性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
(GE		発がん性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
		生殖毒性		区分2	生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
分類	環	水生環境有害性 (急性毒性)		区分2	水生生物に毒性
	境	水生環境有害 (慢性毒性)	手性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
		法規制等		事故事例が確認	認された物質(水質事故)
選定	至条		例1		へ配管移送中、配管バルブから過酸化水素(35%)60リット
件の		事故の報告		ルが地面上に流出した。 タンクへの過酸化水素(35%)を移す際に溢れさせ、施設内の雨水U字溝を	
当为	け沢	事例	例2		での側溝への60~100L流出した。作業者がその場を離れ、
			7,12		ドーフーローしたもの。被害報告はない
作業	作業委員会における				
専門	専門家の意見				
20	その他			毒物及び劇物	取締法(劇物)
~(),	その他			GHS分類対象	物質リスト(環境リスク「中」)

備考	
----	--

物質番号	物質名	CAS No.
41	クロルスルホン酸	7790-94-5

項目					データ等	
	化学式		HClO₃S			
	分子量(式量)		116.52			
性	常温での状態		無色の発煙性液体			
状	融点	Ĩ.		-80°C		
等	沸点	Ţ		158℃		
	水溶	ド解度		104g/L(25℃)、推定値		
	その	他		水とは爆発的に	こ分解反応を起こし、硫酸と塩酸になる。刺激臭がある。	
取	主な	:用途		有機合成用、图	医薬品、合成洗剤	
扱状	製造	ē·輸入量		6000t/年(化学	学商品)	
況	その	他				
		急性毒性(経	口)	区分2	飲み込むと生命に危険	
		皮膚腐食性/		区分1	重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷	
有害性(GHS	健康	眼に対する重篤な 損傷性/刺激性		区分1	重篤な眼の損傷	
性	涿	生殖細胞変異原性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
(GH		発がん性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
		生殖毒性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
分類)	環	水生環境有害性 (急性毒性)		区分3	水生生物に有害	
	境	水生環境有害性 (慢性毒性)		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
	法規制等			事故事例が確認	認された物質(水質事故)	
選定件の当場	該	該 事故の報告		県の工場へ運動 した際にコンテ	者が輸入したクロルスルホン酸を20トンタンクコンテナで福島 搬し、工場内でコンテナにフレキシブルホースをつなぎ、加圧 ナの受入コックとホースのフランジ部分からクロルスルホン酸 ランジ部分に取り付けてあったテフロンパッキンが劣化してい は はない。	
			例2	ルあふれて塩化	こ移し換えしていた際に、オーバーフローして外に約10リット と水素の白煙を大気中に飛散した。作業員の不注意によるオ 周辺地区で異臭が発生	
		会における				
守门	7余ℓ	意見		毒物及び劇物]	市 统计: / 虑[Man \	
その)他				収柿伝(劇物) 物質リスト(環境リスク「高」)	
<u></u>				10110月規刈多	7/2貝ノハ「	

file Lat		·
備考		

物質番号	物質名	CAS No.
42	酢酸エチル	141-78-6

項目					データ等	
	化学式			$C_4H_8O_2$		
	分子	产量(式量)		88.11		
性	常温での状態			無色透明の可燃性液体で、芳香がある。		
状	融点			-83.6°C		
等	沸点			77.1℃		
	水溶	学解度		80g/L(25℃)、	実測値	
	その)他		クロロホルム、フ	アルコール、エーテルに可溶、水にわずかに可溶	
取	1:1:	常用途		塗料および印刷	別インキ、レザー、接着剤、真珠、医薬品原料などの溶剤また	
扱	土/3			は原料		
状況	製造	步•輸入量		10 万~100 万	t/年(経産省調査(平成 19 年度))	
	その					
		急性毒性(経		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
		皮膚腐食性/		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
有害性	健康	眼に対する重篤な 損傷性/刺激性		区分2	強い眼刺激	
性	承	生殖細胞変異原性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
(GHS		発がん性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
		生殖毒性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
分類)	環	水生環境有害性 (急性毒性)		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
	環境	水生環境有害 (慢性毒性)	手性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
	法規制等			事故事例が確認	認された物質(水質事故)	
選舞	官条			蒸留装置の三	方弁の動作不良および三方弁の不具合を確認するにあたり、	
件の)該	事故の報告	例1	手動で弁を操作	作し元の状態に戻さなかったため、酢酸エチルが溢流した。弁	
当北	犬況	事例		の動作不良及び	び操作ミスによる。被害報告はない	
			例2			
		員会における				
専門	月家の	意見				
その)他			毒物及び劇物		
	C • > E			悪臭防止法(特	定患臭物質)	

備考	
----	--

物質番号	物質名	CAS No.
43	臭素	7726-95-6

項目					データ等	
	化学式		Br_2			
	分子量(式量)			159.82		
性	常温	こでの状態		激しい刺激臭をもった赤褐色液体		
状	融点			-7.25°C		
等	沸点	Ī.		59.47℃		
	水泻	字解度		33.6g/L(25℃)		
	その)他			つール、二硫化炭素、クロロホルム、ベンゼン等に溶ける。	
取	主な	用途		農薬(土壌およ	び植物のくん蒸剤、その他)、プラスチックや化学合成繊維の	
扱				難燃材、工業薬		
状況		步•輸入量		2.6 万 t/年(化	公学商品)	
	その					
		急性毒性(経		区分3	飲み込むと有毒	
		皮膚腐食性/		区分1	重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷	
有害性	健康	眼に対する 損傷性/刺激		区分1	重篤な眼の損傷	
性	承	生殖細胞変異原性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
(GHS		発がん性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
		生殖毒性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
分類)	環境	水生環境有害 (急性毒性)	手性	区分1	水生生物に非常に強い毒性	
		水生環境有害 (慢性毒性)	手性	区分1	長期的影響により水生生物に非常に強い毒性	
	法規制等			事故事例が確認	忍された物質(水質事故)	
選定件の		'	例1	臭素を受入タン のパッキン部か	クから計量槽へポンプで移送する際に、臭素が移送ポンプ ら漏洩した。	
当場	犬況	事例	例2	プラントの配管に穴があき、臭素が漏洩した。社員1名、外部業者4名		
			772	名が目の痛みな	など発生。	
	作業委員会における 専門家の意見					
マ ケ	\lh			毒物及び劇物	取締法(劇物)	
~ U	その他			GHS分類対象	物質リスト(環境リスク「高」)	

備考	
----	--

物質番号	物質名	CAS No.
44	水酸化カリウム	1310-58-3

		項目			データ等
	化学式		КОН		
	分子量(式量)		56.11		
性	常温での状態		白色の固体		
状	融点	Ĩ.		380 ℃	
等	沸点	Į		1327℃ (760mm	Hg)
	水溶	解度		97g/100 水 (0℃	C)
	その	他		水溶液は強アバ	レカリ性を呈し、炭酸ガスを吸収する
取	计 # 2	用涂		各種カリ塩類の	製造、鉱山安全灯用、軟石けん、医薬品、漂白剤、溶融剤、
扱	土は	.用壓		炭酸ガス吸収剤	刊など
状況	製造	ē·輸入量		10 万~100 万	t/年(経産省調査(平成 19 年度))
104	その	他			
		急性毒性(経	口)	区分3	飲み込むと有毒
		皮膚腐食性/	刺激性	区分1	重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
有害性(GHS	健康	眼に対する重篤な 損傷性/刺激性		区分1	重篤な眼の損傷
性	承	生殖細胞変異原性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
(GE		発がん性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		生殖毒性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
分類)	環	水生環境有害 (急性毒性)	手性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
	環境	水生環境有害 (慢性毒性)	手性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
>== -L	7	法規制等		事故事例が確認	忍された物質(水質事故)
選定			/Ela	出来上がった勢	製剤(水酸化カリウム(約20%))を密封したところ、約10分後
件の		事故の報告	例1	に破裂した。作	業員1名被液。
当划	八九	事例	例2		
作業	(委員	会における	1		
		意見			
				毒物及び劇物	取締法(劇物)
その	7世	<u>tt</u>		GHS分類対象	物質リスト(環境リスク「高」)

備考	
----	--

物質番号	物質名	CAS No.
45	水酸化ナトリウム	1310-73-2

項目					データ等
	化学式		NaOH		
	分子量(式量)		40		
性	常温での状態		白色半透明の固体		
状	融点		318°C		
等	沸点			1390℃	
	水浴	· 解度		1000g/L(25℃)、推定値	
	その)他		水に溶解する場	場合、多量の熱を発生する。水溶液は強アルカリ性を呈する。
				人絹、スフ、セロ	コハン、合成繊維などの製造、染料中間物、香料、医薬品な
Ħ ź z	→ +	用途		どの製造、綿糸	及び綿布の精練、油脂の精製、石けんなどの製造、紙およ
取扱	土/3	、用述		びパルプの製造	告、石油タール油などの精製、アルミナ、各種ソーダ塩類の製
状況				造、水の軟化剤	リ、アルカリ蓄電池の電解液、一般洗浄用、中和、分析用試薬
104	製造	步•輸入量		100万~1000万	万 t/年(経産省調査(平成 19 年度))
	その)他			
		急性毒性(経	口)	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		皮膚腐食性/		区分1	重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
有害性	健康	眼に対する重篤な 損傷性/刺激性		区分1	重篤な眼の損傷
性		生殖細胞変異原性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
(GHS		発がん性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		生殖毒性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
分類	環	水生環境有害性 (急性毒性)		区分3	水生生物に有害
	境	水生環境有害 (慢性毒性)	手性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
		法規制等		事故事例が確認	忍された物質(水質事故)
\33 Z	→ <i>A</i> 7		/Ela	再蒸留塔の爆	発・炎上事故に伴い、河川へ流出した。河川のpH低下、魚の
選定		事故の報告	例1)取水停止、農作物にも被害が発生。
当場		事例	例2		ム溶液の希釈作業中、タンクから4トンの同溶液が漏れ出し、 ご近隣を流れる川に流出した。流出した河川の魚が多数死亡
			1/1/2/	した。	、 たこり中で 1月10月 いるノーロー1月1日日 $O(C_0)$ 月11日日 $O(C_1$ 日月 $O(C_1$ 日 $O(C_1)$ 日 $O(C_1)$ 日 $O(C_1$ 日 $O(C_1)$ 日
	と 要員会における 関家の意見		過去の事故事件	列が報告されており、特に留意が必要と考えられる。	
その)他			毒物及び劇物	取締法(劇物)

備考	

物質番号	物質名	CAS No.
46	スチレン	100-42-5

	項目				データ等	
	化学	兰 式		C ₈ H ₈		
	分子量(式量)		104.15			
性	常温での状態		芳香ある無色の液体			
状	融点	Ī		-31°C		
等	沸点	Ī.		145℃		
	水浴	幹解度		310 mg/L(25	℃)、実測値	
	その)他		アルコールお	よびエーテルに可溶、水に不溶	
т-		\		ポリスチレン格	謝脂、合成ゴム、不飽和ポリエステル樹脂、AS 樹脂、ABS 樹脂、	
取扱	土73	用途		イオン交換樹	脂、合成樹脂塗料	
状況	製造	步•輸入量		100 万~1000) 万 t/年(経産省調査(平成 19 年度))	
九	その)他				
		急性毒性(経	口)	区分5	飲み込むと有害のおそれ	
		皮膚腐食性/	刺激性	区分2	皮膚刺激	
有害性(GHS	健康	眼に対する重篤な 損傷性/刺激性		区分2	強い眼刺激	
性	承	生殖細胞変異原性		区分2	遺伝性疾患のおそれの疑い	
(GF		発がん性		区分2	発がんのおそれの疑い	
		生殖毒性		区分1	生殖能または胎児への悪影響のおそれ	
分類)	環	水生環境有害性 (急性毒性)		区分2	水生生物に毒性	
	境	水生環境有害 (慢性毒性)	手性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
選定	マタ	法規制等		事故事例が確	確認された物質(水質事故)	
件の	該	事故の報告	例1	化学工場のパ 死。	ベルブ操作ミスによりスチレンが流出。ニゴイ等約 100 尾が斃	
当为	犬況	事例	例2			
作業	美委員	会における	1			
専門	月家の)意見				
				悪臭防止法(特定悪臭物質)	
その)他			要調査項目		
				水道水質基準	準(要検討項目)	

備考	
----	--

物質番号	物質名	CAS No.
47	二硫化炭素	75-15-0

		 項目			データ等	
	化学	栏 式		CS_2		
性	分子量(式量)		76.14			
	常温での状態		無色揮発性液体、通常悪臭をもつが、純品はクロロホルムのような臭気がある			
状	融点			-111.5 ℃		
等	沸点			46°C		
	水浴	· 解度		2.16g/L(20℃)	、実測値	
	その)他		水に微溶、発火たものは爆発性	く点 100℃で空気中で非常に燃えやすく、これと空気が混合しまがある。	
取扱	主な	常用途		ビスコース人絹 加硫促進剤など	、セロハン、殺虫剤、医薬品、溶剤(油脂、ゴムなど)、ゴム用	
状	製造	步•輸入量		3.3 万 t/年(化	企 審法届出(平成 20 年度))	
況	その)他				
		急性毒性(経	口)	区分5	飲み込むと有害のおそれ	
		皮膚腐食性/刺激性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
有害性	健康	眼に対する重篤な 損傷性/刺激性		区分2	強い眼刺激	
性	涿	生殖細胞変異原性		区分2	遺伝性疾患のおそれの疑い	
(GHS		発がん性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
		生殖毒性		区分1	生殖能または胎児への悪影響のおそれ	
分類	環	水生環境有害性 (急性毒性)		区分2	水生生物に毒性	
	境	水生環境有害性 (慢性毒性)		区分2	長期的影響により水生生物に毒性	
		法規制等		事故事例が確認	認された物質(水質事故)	
選5件の当場)該	D該 事故の報告 例1 R:		化炭素と液体研た。火災が発生サーの一部が	黄を冷却する冷却水に二硫化炭素が混入していたため、二硫 荒黄が接触、着火し、付近にあった乾燥中の硫黄に延焼し とした箇所の付近にある二硫化炭素の回収工程で、コンデン 東結閉塞したため、二硫化炭素が逆流し冷却水に混合したも 等が焼失、硫黄約1t燃焼。	
作当	生 禾目	<u>L</u> 員会における	例2			
	専門家の意見 その他			毒物及び劇物! 要調査項目	取締法(劇物)	

備考	

物質番号	物質名	CAS No.
48	ヒドラジン	7803-57-8

項目					データ等	
	化学	兰 式		$N_2H_4 \cdot H_2O$		
	分子量(式量)			50.06		
性	常温での状態			無色発煙性アルカリ性の液体		
	融点			-51.7°C		
等	沸点			120.1℃		
	水溶	解度		易溶		
	その)他		水およびアルコ	ールとは混和しやすくクロロホルムおよびエーテルに不溶	
	主力	用途		プラスチック発泡	包剤製造用、清缶剤、還元剤、重合触媒および各種誘導体、	
取	工/3	·/TI/AL		試薬、農薬など		
扱状	動光	₺·輸入量			監視化学物質の製造・輸入数量の合計量の公表について	
況				経済産業省 平	² 成 21 年度)	
	その	· <u> </u>				
		急性毒性(経		区分3	飲み込むと有毒	
		皮膚腐食性/刺激性		区分1	重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷	
有害性	健康	眼に対する重篤な 損傷性/刺激性		区分1	重篤な眼の損傷	
性	涿	生殖細胞変異原性		区分2	遺伝性疾患のおそれの疑い	
(GHS		発がん性		区分2	発がんのおそれの疑い	
		生殖毒性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
分類)	環	水生環境有害性 (急性毒性)		区分1	水生生物に非常に強い毒性	
	境	水生環境有害性 (慢性毒性)		区分1	長期的影響により水生生物に非常に強い毒性	
		法規制等		事故事例が確認	認された物質(水質事故)	
選定件 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生	該	事故の報告 例1 事例		400L 流出。本まが、このバルブ	約5000L漏洩した。施設外へは中性硫酸ヒドラジンとして約 来ならばバルブが緩んでも漏洩を防ぐキャップを設置している には設置されていなかったため、振動等によりバルブが緩 のと推定される。被害報告はない。	
			例2	_		
作業	作業委員会における					
専門	専門家の意見					
その	その他			毒物及び劇物	取締法(劇物)	

fills also	
備考	
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
D113 3	

物質看	番号	物質名	CAS No.
49)	ヒドロキシルアミン	7803-49-8

項目					データ等
化学式				H ₃ NO	/ / 1
	分子量(式量)		33.03		
	常温での状態		無色透明の液体		
性			無色透明▽/IX		
状等	融点				1 /
7.1	沸点		77°C (60 mm Hg)		
		序解度		1000g/L(25℃)、推定值	
	その)他		水と任意の割合	
取	主な	用途			一の合成、重合防止剤、スチレンや天然ゴムの安定剤、医薬、
扱状	Harl S.				製造における残さ除去剤原料等
況		₺·輸入量		1万~10万 t/4	年(経産省調査(平成 19 年度))
	その				to the law south to the state of the state o
		急性毒性(経		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		皮膚腐食性/刺激性		区分2	皮膚刺激
有害	健	眼に対する重篤な 損傷性/刺激性		区分1	重篤な眼の損傷
有害性	康	生殖細胞変異原性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
(GHS		発がん性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		生殖毒性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
分類)	環	水生環境有害性 (急性毒性)		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
	境	水生環境有害性 (慢性毒性)		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		法規制等		事故事例が確認	忍された物質(水質事故)
選定件の 当場		事故の報告 例1 事例		発・炎上事故に	ン製造工程における想定外の工程異常による再蒸留塔の爆伴い、河川へ流出。作業員4名死亡、建物の窓、屋根全壊、被害。河川のpH低下、魚のへい死、水道の取水停止、農作生。
			例2		
作業	美委員会における				
専門	専門家の意見				
その)他			毒物及び劇物	取締法(劇物)

備考	
----	--

物質番号	物質名	CAS No.
50	ホスゲン	75-44-5

		項目			データ等	
	化学	全式		CCl ₂ O		
	分子量(式量)			98.92		
	常温での状態			独特の青草臭のある無色の圧縮液化ガス		
性	融点			-118℃		
性状等	沸点			8.2°C		
	水泻	\$解度		5.94g/L(25 ℃)、推定値	
	その)他		ベンゼン、トルコ	エンによく溶解し、水とは徐々に分解して炭酸ガスと塩酸にな	
取扱状	主な	用途			斗中間体の原料、イソシアネート類の原料として弾性体、接着 ポリウレタン系諸製品および繊維処理剤、除草剤に利用、医	
況	製造	b·輸入量				
	その)他				
		急性毒性(経口)		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
		皮膚腐食性/		区分2	皮膚刺激	
有害性	健康	眼に対する重篤な 損傷性/刺激性		区分2	強い眼刺激	
性	承	生殖細胞変異原性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
(GHS		発がん性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
		生殖毒性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
分類	環	水生環境有害性 (急性毒性)		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
	境	水生環境有害性 (慢性毒性)		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
	法規制等			事故事例が確認	恐された物質(水質事故)	
選定 件の	該	事故の報告	例1	ていた仕切板を	ために、鉛直方向に設置された配管の継手部に取り付けられ と取り外す際に、当該継手部からホスゲン(約127g)を含むモ	
当場	大光	事例	/#! C	ノクロルベンセ:	/20Lが漏洩した。約 50 名が受診した。	
<i>11</i> → ≥11	イチョウルートントフ					
	作業委員会における					
	専門家の意見			毒物及び劇物」	五⁄公 社 / 孝/加 \	
てり	その他			母物及い劇物	以种 <i>伝\</i> 母物/	

備考 ベンゼンに溶解した事故事例があり。

物質番号	物質名	CAS No.
51	硫酸	7664-93-9

		項目			データ等	
	化学	兰式		H ₂ SO ₄		
	分子量(式量)			98.08		
性	常温での状態		無色の液体。濃度の高いものは油状			
状	融点		10.31℃			
等	沸点	Ĭ.		[~] 290°C		
	水溶	F解度		1000mg/L(25°C	C)、実測値	
	その	他				
取	主な	用途			遊原料であり、特に肥料工業、繊維、無機薬品工業をはじめ	
扱				金属製錬、製鋼	岡、紡織、製紙、食料品工業など広範囲に使用される	
状況		Ē·輸入量		100万~1000万	万 t/年(経産省調査(平成 19 年度))	
	その					
		急性毒性(経口)		区分5	飲み込むと有害のおそれ	
	健康	皮膚腐食性/刺激性		区分1	重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷	
有害性		眼に対する重篤な 損傷性/刺激性		区分1	重篤な眼の損傷	
性		生殖細胞変異原性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
(GHS		発がん性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
		生殖毒性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
分類		水生環境有害性		区分3	水生生物に有害	
()	環	(急性毒性)		区方3 水生生物に有音	ルエエ物に有 日	
	境	水生環境有害	手性	区分外	 十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
		(慢性毒性)				
l		法規制等	Г	. , , , ,	認された物質(水質事故)	
選兌	_ ,		例1		農硫酸約2000Lが排水路を経由し、河川に流出。魚類へい	
)該 犬況	事故の報告		死(約500匹)		
当り		事例	1/2019		流出した硫酸が防液堤のひび割れから地下に浸透し、周辺	
<i>1/⊷</i> →1	と エロ 人) こいじゃ			の刊川〜約52	7L流出した。魚類斃死。人への健康被害は無い。	
	作業委員会における					
	専門家の意見			主かなではます	- 5-√	
~U	その他			毒物及び劇物	以佈法(劇物)	

物質番号	物質名	CAS No.
52	硫酸ジメチル	77-78-1

		項目			データ等	
	化学	全式		C ₂ H ₆ SO ₄		
	分子量(式量)			126.13		
	常温での状態			無色の液体		
性	融点	₹		-27°C		
性状等	沸点	Ī.		188℃		
,,	水浴	· 解度		28g/L(18℃)	、実測値	
	7 0	\ /1 b		水、脂肪族炭	化水素に難溶、水とは冷時徐々に熱または酸の存在により速	
	その	7他		やかに分解す	~る	
H	→ +	 :用途		多くの有機合	成のメチル化剤、中間物アニソール・香料ネロリンの合成、医	
取扱	土小	、用述		薬品の合成な	<u>ک</u>	
状況	製造	生•輸入量		1万~10万 t	/年(経産省調査(平成 19 年度))	
ÐĽ	その)他				
		急性毒性(経	口)	区分3	飲み込むと有毒	
		皮膚腐食性/刺激性		区分1	重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷	
有害性	健	眼に対する重篤な 損傷性/刺激性		区分1	重篤な眼の損傷	
性	康	生殖細胞変異原性		区分2	遺伝性疾患のおそれの疑い	
(GHS		発がん性		区分1	発がんのおそれ	
		生殖毒性		区分2	生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い	
分類)	環	水生環境有害性 (急性毒性)		区分2	水生生物に毒性	
	境	水生環境有害性 (慢性毒性)		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
		法規制等		事故事例が確	電認された物質(水質事故)	
選兌	官条			ジメチル酸を混合攪拌槽に注入する作業中に現場を離れた際に約20Lオー		
件の)該	事故の報告	例1	バーフローした	た。5人の作業員が中和及び回収作業を行った。作業員3人入	
当为	犬況	事例		院、2人通院。		
			例2	_		
專門					and colored to be to the colored to	
					如取締法(劇物)	
その)他				象物質リスト(環境リスク「高」)	
				要調査項目		

file las			
備考			
1100 20			
1 I/H -			

物質番号	物質名	CAS No.
53	次亜塩素酸ナトリウム	7681-52-9

		項目			データ等	
	化学	全式		ClNaO		
	分子量(式量)			74.44		
性	常温	1での状態		白色の固体		
状等	融点	Ī.		18℃(五水和物	g)	
等	沸点	Ī.		100℃(分解)		
	水浴	溶解度		1000g/L(25℃))、推定値	
	その)他				
取	主な	用途		繊維・パルプの	漂白, 水処理, 医薬, 食品添加物, 殺菌剤(失効農薬)	
扱状	製造	步•輸入量		10 万~100 万	t/年(経産省調査(平成 19 年度))	
況	その	他				
		急性毒性(経	口)	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
		皮膚腐食性/刺激性		区分1	重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷	
有害性	健康	眼に対する重篤な 損傷性/刺激性		区分1	重篤な眼の損傷	
性	康	生殖細胞変異原性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
(GHS		発がん性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
		生殖毒性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
分類)	環	水生環境有害性 (急性毒性)		区分1	水生生物に非常に強い毒性	
	境	水生環境有害 (慢性毒性)	手性	区分1	長期的影響により水生生物に非常に強い毒性	
		法規制等		事故事例が確認された物質(水質事故)		
選定		事故の報告 事例	例1	液体塩素消毒剤タンク(1,000L)を清掃中に誤って排水し、浄水場から 98L だ 排水された。下流3km に亘って魚(約 150kg)が斃死した。		
当步	犬況		例2		ことにより、プール(スイミングクラブ)から消毒用の次亜塩素 40L が排水された。コイ、オイカワなど約 1,000 尾が斃死した。	
	作業委員会における 専門家の意見			残留塩素の原因物質であるため留意する必要がある。		
その)他			事故事例が確認	認された物質	

備考 「残留塩素」の原因物質として指摘された。

物質番号	物質名	CAS No.
54	エストックス(ESP)	2674-91-1

項目					データ等	
	化学	全式		$C_7H_{17}O_4PS_2$		
	分子量(式量)			260.3		
	常温	見での状態		無色ないし淡黄色液体		
性	融点	Ē		_		
状等	沸点			115°C(0.02mm	Hg)	
,,	水浴	· 解度		700g/L 以上(2	0°C)	
	7 0	\ lib		エタノール、キ	シレンに可溶であるが、ヘキサンにはほとんど溶解しない。	
	その	7他		熱・光に対し安	定、酸・アルカリに対して比較的不安定	
取	主な	用途		農薬(H12 年失	-効)	
扱状	製造	生・輸入量				
況	その)他				
		急性毒性(経	口)	_	_	
		皮膚腐食性/刺激性		_	_	
有	/ 2-12 .	眼に対する重篤な			_	
害	健康	損傷性/刺激性				
性(120	生殖細胞変異原性		_	_	
有害性(GHS		発がん性		_	_	
		生殖毒性		_	_	
分類)		水生環境有害性		_	_	
	環	(急性毒性)				
	境	水生環境有害	手性	_	_	
		(慢性毒性)				
選兌	字条	法規制等	1	事故事例が確認された物質(水質事故)		
件の		事故の報告	例1		おいて、不要となったエストックス乳剤400mlを廃棄のため、	
	犬況	事例		生活系排水に流出させた。不適切な廃棄方法が原因。被害報		
		7 7 7	例2			
		会における				
		意見				
その)他			-		

備考	
/ 一	
1 11 11 11 11	
VIII J	

物質番号	物質名	CAS No.
55	アラニカルブ	83130-01-2

		項目			データ等	
	化学	兰式		$C_{17}H_{25}N_3O_4S_2$		
	分子量(式量)			399.5		
	常温	こでの状態		淡黄色結晶		
性	融点	Ţ		46.8∼47.2°C		
性状等	沸点	Ţ		_		
	水溶	孫解度		20mg/L(20°C)		
	その	\{\psi_1\psi_1\psi_2\psi_1\psi_2\psi_2\psi_1\psi_2\psi		ベンゼン、キシ	レン、酢酸エチル、塩化メチレン、メタノール、アセトン等の有	
	~ (),	/但·		機溶剤に 500g	/L 以上溶解。	
取	主な	用途		農薬		
扱状	製造	b·輸入量		26t/年(農薬扌	能計値(平成 20 年度))	
淣	その	他				
		急性毒性(経	口)	区分4	飲み込むと有害	
		皮膚腐食性/刺激性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
有害性	健康	眼に対する重篤な 損傷性/刺激性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
性	承	生殖細胞変異原性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
(GHS		発がん性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
		生殖毒性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
分類)	環	水生環境有害性 (急性毒性) 水生環境有害性 (慢性毒性)		区分1	水生生物に非常に強い毒性	
	境			区分1	長期的影響により水生生物に非常に強い毒性	
		法規制等		事故事例が確認された物質(水質事故)		
選兌	条			アラニカルブを含む農薬用原体を加熱中、ドラム缶の内圧が上がり約120kg		
件の	該	事故の報告	例1	飛散した。保温器の異常高温(原因不明)。作業員1名が吐き気を訴え、付		
当划		事例		近住民から異臭の苦情があった。		
			例2			
	作業委員会における					
専門	言家の	意見				
その	他			_		

物質番号	物質名	CAS No.
56	クロルデン	57-74-9

		項目			データ等	
	化学	兰 式		$C_{10}H_6Cl_8$		
	分子量(式量)			409.8		
性	常温での状態			淡黄色ないしコハク色の粘度の高い液体		
状等	融点			$106^{\circ}\text{C}(25^{\circ}\text{C})$		
等	沸点	Ţ		175℃ (0.27Pa)		
	水溶	孫解度		不溶		
	その	<u>'-</u>		有機溶剤を含む	」液体製剤は引火性のことがある	
取		:用途		農薬(1968 年失	ミ効)	
扱状	製造	₺•輸入量				
況	その	,				
		急性毒性(経		_	-	
		皮膚腐食性/刺激性		_	_	
有	/z :1-	眼に対する重篤な		_	_	
害	健康	損傷性/刺激性				
有害性(GHS	,,,,,	生殖細胞変異原性		_	_	
GH		発がん性		_	-	
		生殖毒性		_	-	
分類		水生環境有害性		_	_	
	環	(急性毒性)				
	境	水生環境有害性		_	_	
		(慢性毒性)				
		法規制等	ı		忍された物質(水質事故)	
選兌	:条				に保管していたところ、ドラム缶の腐食によりクロルデン、クロ	
件の		事故の報告	例1	ルピリホスが河川に流れ出し河川を汚染したものと思われる。保存方法が不		
当步		事例		適切であったため容器が腐食したことが原因。河川に流れでて魚が大量死		
		3 12 3	/Filo	した。		
<i>1/</i> ← ¾	4 -	・人)テキンプフ	例2			
		会における				
		意見		ルタル 佐 4	f 性ウル 分 Hp 所	
その	他			化審法 第一種	图 特足化子物質	

物質番号	物質名	CAS No.
57	クロルピクリン	76-06-2

項目				データ等		
性状等	化学式			CCl ₃ NO ₂		
	分子量(式量)			164.4		
	常温での状態			無色透明液体(容易にガス化)		
	融点			−69°C		
等	沸点			112.4℃(分解)		
	水溶解度			2.27g/L		
	その他			有機溶剤とは混和する		
取	主な用途			農薬		
扱状	製造•輸入量			7948 t (国内出荷量、PRTRデータ 平成 20 年度)		
況	その	他				
		急性毒性(経	口)			
		皮膚腐食性/	刺激性			
右	/ 121 1.	眼に対する	重篤な			
害	健康	損傷性/刺激性				
有害性(GHS	AC	生殖細胞変異原性				
GH		発がん性				
S 公		生殖毒性				
分類		水生環境有害性				
	環	(急性毒性)				
	境	水生環境有害性				
		(慢性毒性)				
	法規制等		1	事故事例が確認された物質(水質事故)		
選定	₹条	事故の報告	例1	クロルピクリンの製造工程で脱水のため充填器に移す際作業員がバルブを		
	該			閉め忘れ、脱水装置から約6.5Lが工場内に流出した。付近住民3名が眼		
当步				の刺激を訴えた。		
			例2	製品に希釈の目的で水を加えて缶に保存していたものが腐食し、倉庫床に		
11.50				漏洩した。		
	作業委員会における					
	専門家の意見					
その	その他			_		

物質番号	物質名	CAS No.
58	クロルピリホス	2921-88-2

項目				データ等		
性状等	化学式		C ₉ H ₁₁ Cl ₃ NO ₃ PS			
	分子量(式量)		350.6			
	常温での状態		無色ないし白色の結晶			
	融点		41~42°C			
等	沸点		160℃(分解)			
',	水溶解度		1.4mg/L			
	その他		分解すると塩化水素、ホスゲン等を含む有害で腐食性のヒュームを生じる。			
			強塩基、酸と反応する。			
取	主な用途		農薬			
扱状	製造·輸入量		96t(農薬推計値(平成 20 年度))			
況	その他					
		急性毒性(経	口)	_	_	
		皮膚腐食性/	刺激性	_	_	
有	<i>h</i> =+-		眼に対する重篤な		_	
有害性	健康 .	損傷性/刺激性				
性		生殖細胞変異原性		_	_	
(GHS		発がん性		_	_	
		生殖毒性		_	_	
分類	環境	水生環境有害	手性	_	_	
		(急性毒性)				
		水生環境有害	手性	_	_	
		(慢性毒性)				
	法規制等			認された物質(水質事故)		
	E条 D該 犬況	事故の報告 事例			に保管していたところ、ドラム缶の腐食によりクロルデン、クロ	
			例1	ルピリホスが河川に流れ出し河川を汚染したものと思われる。保存方法が不		
当北				適切であっただ	こめ容器が腐食した。河川に流れでて魚が大量死。	
11	14 T F	1.6.3.3	例2			
	作業委員会における					
	専門家の意見					
その	その他			_		